



292
48



始



THE
AKITA MINING COLLEGE

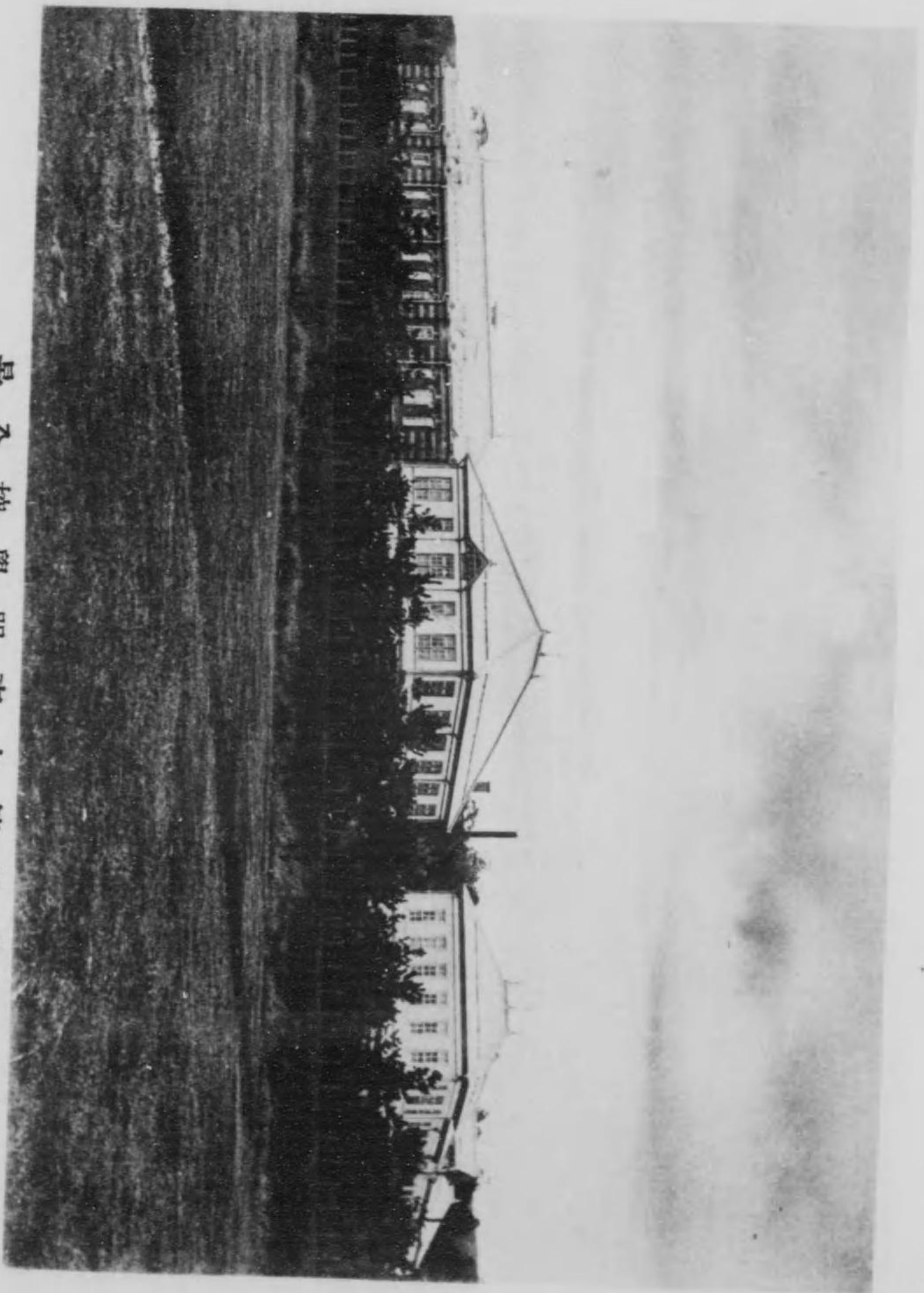
CALENDAR

(1920-1921)

秋田鑛山專門學校一覽

自大正九年
至大正十年

40



秋田鑛山草門學全景

292-48

秋田鑛山專門學校一覽

目次

第一	三學年曆	一
第二	沿革略	三
第三	法令	一九
一	專門學校令	一九
二	實業學校令	二〇
三	專門學校入學者檢定規程	二一
四	文部省直轄學校外國人特別入學規程	二三
五	文部省直轄學校外國人特別入學規程ヲ臺灣人若クハ朝鮮人ニ準用	二五
六	文部省直轄諸學校官制	二五

校寄贈本

大正 10.3.1 寄贈

七 文部省直轄諸學校職員定員令……………二八

八 文部省直轄諸學校長職務規程……………二九

九 同一人ニシテ文部省直轄諸學校中ノ二個以上ノ學校ニ入學ヲ出願シタルモノノ入學方……………三〇

十 文部省直轄學校生徒他ノ文部省直轄學校ノ入學試験ヲ受クルノ件……………三一

十一 帝國大學及文部省直轄諸學校雇外國人使用ニ關スル規程……………三一

十二 秋田鑛山專門學校ノ位置及授業開始……………三二

十三 秋田鑛山專門學校規程……………三二

十四 專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ秋田鑛山專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノノ指定……………三三

十五 本校卒業生ニ關スル認定……………三四

十六 秋田鑛山專門學校商議委員會規定……………三四

十七 海軍造船造機造兵生徒規則……………三五

第四 商議委員及職員……………三七

第五 規則……………四四

秋田鑛山專門學校規則……………四四

第一章 總則……………四四

第二章 學科課程……………四四

第三章 學年、學期及休業日……………四五

第四章 入學、在學、退學及懲戒……………四六

第五章 修業及卒業……………五三

第六章 特待生……………五四

第七章 入學檢定手数料授業料實習實驗費……………五四

目次……………三

第八章	研究生	四
第九章	選修生	五七
第十章	寄宿寮	五八
第六	入學者、卒業者在學者諸表	五九
第七	生徒	七二
第八	卒業生及修業生	七七
第九	卒業生及修業生就職先累計	七七
第十	在學生徒出身地方別	九七
第十一	卒業生、修業生出身地方別	一〇〇
第十二	入學志願者及入學者府縣別人員	一〇四
第十三	生徒學費概算表	一〇八
第十四	敷地建物	一一〇
第十五	圖書	一一二
第十六	鑛手養成部	一一四

附 錄

校友會規則	一一六
-------	-----

秋田鑛山專門學校一覽目次終

目次

第一學年曆

四月一日	第一學期始	春季休業始
四月十日	春季休業終	
四月十一日	入學宣誓式	
五月十一日	教育ニ關スル御親署ノ勅語	御下賜記念日
七月十日	寄宿寮開寮記念日	
七月十一日	夏季休業始	
七月三十日	明治天皇祭	
八月三十一日	天長節	
八月三十一日	第一學期終	
九月十日	第二學期始	
九月十日	夏季休業終	
九月十日	秋季皇靈祭	



學年曆

學年曆

- 十月一日 開校記念日
- 十月十七日 神嘗祭
- 十月三十一日 天長節祝日(拜賀式)
- 十一月二十三日 新嘗祭
- 十二月二十五日 冬季休業始
- 十二月三十一日 第二學期終
- 一月一日 新年拜賀式(第三學期始)
- 一月七日 冬期休業終
- 二月十一日 紀元節(拜賀式)
- 春分ノ日 春季皇靈祭
- 三月三十一日 第三學期終



第二沿革略

明治四十一年

四月七日文部大臣牧野伸顯ハ左記二件ノ寄附出願ヲ許可シ本校設立ノ基礎ヲ定メラレタリ

一、明治四十年八月招集ノ臨時秋田縣會ニ於テ秋田縣知事下岡忠治ノ發シタル政府ニ於テ鑛業ニ關スル高等專門學校ヲ秋田縣ニ設置セラルル場合ニハ右ニ要スル相當ノ敷地ハ地均シノ上之レヲ寄附スルモノトノ原案ヲ可決シ同知事ヨリ出願シタルコト(現在敷地壹萬八千九百九十六坪地均シノ上寄附)

二、藤田傳三郎外二人ヨリ創立費トシテ總額金三拾五萬圓ノ寄附ヲ出願シタルコト

内譯

沿革略

金貳拾壹萬圓

金八萬圓

金六萬圓

而シテ前記創立費ノ使用内譯精算左ノ如シ

金貳拾參萬八千八百圓

金九萬三千九百九拾九圓貳拾五錢

金壹萬七千八百八拾八圓七拾參錢

六月二十三日左記三人ニ本校創立委員ヲ囑託セララル

東京帝國大學工科大学教授工學博士

同

仙臺高等工業學校教授

明治四十三年

三月二十六日勅令第六十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制ヲ改正シ

男爵藤田傳三郎

男爵岩崎久彌

男爵古河虎之助

建設費

設備費

事務費

的場中

依國一

渡邊俊雄

本校ヲ加ヘラル

三月二十六日勅令第六十七號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ

改正シ本校定員ヲ定メラル

十月二十二日東京帝國大學工科大学教授工學博士小花冬吉校長事務

取扱ヲ命セララル

十一月四日文部省告示第二百二十八號ヲ以テ本校ノ位置ヲ秋田縣南

秋田郡旭川村現今ノ秋田市手形トシ明治四十四年四月ヨリ授業ヲ

開始スル旨告示セララル

十一月四日文部省告示第二百二十九號ヲ以テ本校ノ事務ハ當分ノ内

文部省内ニ於テ取扱フ旨告示セララル

十二月十五日附ヲ以テ本校規則制定ノ件許可セララル

十二月十六日文部省令第三十四號ヲ以テ本校ノ修業年限、學科、學科目

及其ノ程度並研究生及選科生ニ關スル規程ヲ發布セララル

明治四十四年

二月八日無試験檢定ニ依リ探礦學科ニ十五人冶金學科ニ十二人入學ヲ許可セリ

二月十八日職員服務心得ヲ定ム

二月十八日宿直規程ヲ定ム

二月十八日文書處理規程ヲ定ム

二月十八日入學志願者身體檢査細則ヲ定ム

二月二十日事務分掌規程ヲ定ム

二月二十一日文部省告示第二十九號ヲ以テ文部省内ニ於テ取扱ヒ來リタル本校事務ヲ同月二十七日ヨリ秋田縣秋田市手形本校内ニ於テ取扱フ旨告示セラル

三月八日外國人特別入學細則制定ノ件許可セラル

四月一日勅令第七十三號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中本校

職員ノ定員ヲ改正セラル

四月十日生徒服裝規程ヲ定ム

四月十日試験檢定ニ依リ探礦學科ニ十六人冶金學科ニ十八人入學ヲ許可セリ

四月十五日生徒心得ヲ定ム

五月十一日

天皇陛下 御眞影及教育ニ關スル 御親署ノ勅語ヲ 御下賜アラセラル

六月十九日生徒學業成績考査細則ヲ定ム

六月三十日文部大臣ハ本校卒業生ヲ東北帝國大學理科學ノ入學ニ關シ高等學校大學豫科卒業生ト同等ノ學力ヲ有スルモノト認メラ

十一月十五日東京帝國大學工科學教授從四位勳四等工學博士小花

冬吉本校々長ニ任セラル
 十二月八日事務分掌規程中追加ス
 十二月十九日非常心得ヲ定ム
 明治四十五年
 大正元年
 一月二十六日宿直規程中改正ス
 二月二日無試験檢定ニ依リ採鑛學科ニ八人冶金學科ニ四人入學ヲ許可セリ
 二月十七日選科生細則ヲ定ム
 二月二十日文部大臣ヨリ物品會計細則制定ノ件許可セラル
 三月二十日文部大臣ヨリ本校規則中改正ノ件許可セラル
 三月三十日生徒服裝規程ヲ改正ス
 三月三十日試験檢定ニ依リ採鑛學科ニ十八人冶金學科ニ十一人入學ヲ許可セリ

三月三十一日生徒心得ヲ改正ス
 四月四日圖書貸出規程ヲ定ム
 四月四日圖書閱覽心得ヲ定ム
 四月四日寄宿寮規則ヲ定ム
 五月九日學業成績考查細則ヲ改正ス
 五月十日事務分掌規程ヲ改正ス
 五月十三日宿直規程中改正ス
 五月十五日入學志願者身體檢査細則中改正ス
 五月二十九日勅令第三百三十號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中本校職員ノ定員ヲ改正セラル
 六月二十四日閑院宮載仁親王 同妃智惠子兩殿下 御臺臨校長以下高等官及奏任待遇職員ニ拜謁ヲ賜ヒ後生徒ノ實驗及授業竝ニ各室御巡覽了リテ記念トシテ 御植樹ノ上 御歸還アラセラレタリ

七月四日鑛物鑛產物分析鑑定規則制定ノ件許可セラル
九月三日勅令第十九號ヲ以テ休日ニ關スル件公布セラル
九月十三日

明治天皇 御大葬儀ニ付キ午後十時ヨリ遙拜式ヲ行フ

九月二十六日非常心得ヲ改正ス

十月二十二日圖書貸出規程及圖書閱覽心得中改正ス

大正二年

二月十日無試験檢定ニ依リ探鑛學科ニ四人冶金學科ニ二人入學ヲ許可セリ

二月十五日日本校物品會計細則中改正ノ件認可セラル

三月七日寄宿寮規則中改正ス

三月十三日寄附物品取扱規程ヲ定ム

三月二十七日試験檢定ニ依リ探鑛學科ニ十七人冶金學科ニ十人入學

ヲ許可セリ

三月二十八日本校規則中改正ノ件認可セラル

三月二十九日文部省令第八號ヲ以テ明治四十三年同省令第三十四號

本校規程中改正セラル

三月二十九日選科生トシテ探鑛學科ニ一人冶金學科ニ一人入學ヲ許可セリ

四月七日選科生トシテ探鑛學科ニ一人入學ヲ許可セリ

四月二十九日文部省告示第二百二十二號ヲ以テ明治四十三年同省告示
第二百三十八號ノ專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ本
校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノノ指
定ヲ改正セラル

六月十三日勅令第八十三號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中
本校職員ノ定員ヲ改正セラル

六月十三日勅令第二百三十七號ヲ以テ文部省直轄諸學校長任用ノ件
 ヲ定メ文部省直轄諸學校長生徒監特別任用令ヲ廢止セララル
 六月二十三日文部省直轄諸學校長職務規程ヲ改正セララル
 九月二日選科生トシテ探鑛學科ニ一人入學ヲ許可セリ
 九月二十六日右同斷
 九月二十七日三井鑛山株式會社取締役社長三井元之助ヨリ冶金實驗
 工場一棟但鐵骨平家建百坪建築費並機械据付工事及設計監督費共
 合セテ金一萬八千圓ノ豫定建築寄附申出アリ本日文部大臣ヨリ許
 可セララル
 十月一日開校式舉行文部大臣代理松浦專門學務局長其他官民有志多
 數參列セララル本日ハ來賓ニ對シ爾後二日間ハ一般公衆ニ對シ校内
 ノ縱覽ヲ許可ス

大正三年

一月十五日日本校規則中改正ノ件許可セララル
 一月十六日文部省令第二號ヲ以テ本校規程中改正セララル
 二月二十四日無試驗檢定ニ依リ探鑛學科ニ九人冶金學科ニ三人入學
 ヲ許可セリ
 三月十日寄宿寮規則中改正ス
 三月十五日午前五時大地震アリ實驗室其他損害多大ナリ
 三月二十日第一回卒業證書授與式ヲ行フ卒業生探鑛學科二十四人冶
 金學科十五人並冶金選科修業者三人ナリ
 三月三十一日試驗檢定ニ依リ探鑛學科ニ十六人冶金學科ニ三人入學
 ヲ許可セリ
 四月十五日研究生トシテ一人選科生トシテ探鑛學科ニ四人冶金學科
 ニ三人入學ヲ許可セリ
 四月二十七日選科生トシテ探鑛學科へ一人入學ヲ許可セリ

四月二十七日本校鑛物鑛産物分析鑑定規則中改正ノ件許可セラル

五月八日本校非常心得中改正ス

五月二十四日

昭憲皇太后御大葬儀ニ付キ午後十時遙拜式ヲ行フ

六月二日本校選科生細則中及本校生徒服裝規程中改正ス

六月三日本校生徒心得中改正ス

八月二十九日校長工學博士小花冬吉依願本官ヲ免セラル

正五位勳五等黒岩休太郎本校々長ニ任セラル

大正四年

二月二十三日無試験檢定ニ依リ探鑛學科ニ六人冶金學科ニ四人入學

ヲ許可セリ

三月十五日第二回卒業證書授與式ヲ行フ卒業生探鑛學科二十四人冶

金學科十二人選科探鑛二人冶金一人ナリ

三月二十七日試験檢定ニ依リ探鑛學科ニ二十一人冶金學科ニ六人入

學ヲ許可セリ

四月一日東北大學工科専門部ヨリ探鑛學科ニ一人冶金學科ニ二人轉

學セリ

四月六日選科生トシテ探鑛學科ニ四人冶金學科ニ二人入學ヲ許可セ

リ

四月十六日寄宿寮規則中改正ス

五月二十六日本校規則中改正ノ件許可セラル

十月二十二日

天皇陛下御眞影ヲ下賜セラル

大正五年

二月十九日無試験檢定ニ依リ探鑛學科ニ五人冶金學科ニ一人入學ヲ

許可セリ

三月十五日第三回卒業證書授與式ヲ行フ卒業生採鑛學科十九人冶金學科十三人選科採鑛四人冶金二人ナリ
 三月二十四日寄宿寮規則ヲ改正ス
 三月二十八日試験檢定ニ依リ採鑛學科二十六人冶金學科二十五人入學ヲ許可セリ
 五月二十二日

皇后陛下御眞影 皇太子殿下御影ヲ下賜セララル

大正六年

二月二十一日無試験檢定ニ依リ採鑛學科ニ十二人冶金學科ニ六人入學ヲ許可セリ

三月十五日第四回卒業證書授與式ヲ行フ卒業生採鑛學科十六人冶金學科四人選科採鑛學科四人ナリ

三月三十一日試験檢定ニ依リ採鑛學科ニ二十五人冶金學科ニ十三人

又選科採鑛ニ五人冶金ニ三人入學ヲ許可セリ

九月十九日校長黒岩休太郎依願本官ヲ免セララル

從四位勳四等工學博士横堀治三郎本校々長ニ任セララル

大正七年

三月二日無試験檢定ニ依リ採鑛學科ニ六人冶金學科ニ四人入學ヲ許可セリ

三月十六日第五回卒業證書授與式ヲ行フ卒業生採鑛學科十四人冶金學科九人選科冶金科三人ナリ

三月二十六日試験檢定ニ依リ採鑛學科ニ三十八人冶金學科ニ三十五人又選科採鑛學科ニ十二人同冶金學科ニ八人入學ヲ許可セリ

四月十五日本校規程中改正

六月十日本校商議委員規程ヲ定メラレ東京帝國大學教授渡邊渡外十

名商議委員ヲ囑託セララル

大正八年

三月十一日無試験檢定ニ依リ採鑛學科ニ十一人冶金學科ニ三人入學ヲ許可セリ

三月二十一日第六回卒業證書授與式ヲ行フ卒業生採鑛學科二十五人冶金學科十一人修了生(選修生)七人ナリ

三月一日試験檢定ニ依リ採鑛學科ニ三十五人冶金學科ニ二十三人入學ヲ許可シ選修生十八人ハ隨時入學ヲ許可セリ

三月三十一日三菱鑛業株式會社取締役會長木村久壽彌太氏外九名ヨリ從來私人ノ所有ニ係ル本校寄宿寮ヲ買收ノ上寄付セラル

大正九年

三月五日無試験檢定ニ依リ採鑛學科ニ五人冶金學科ニ三人入學ヲ許可セリ

三月二十二日第七回卒業證書授與式ヲ行フ卒業生採鑛學科三十五人

冶金學科十六人修業生十八人ナリ

三月十九日中野財團理事長太田政弘氏ヨリ石油工業ニ關スル學術研究獎勵費トシテ金壹萬圓寄付セラル

三月二十五日試験檢定ニ依リ採鑛學科ニ三十五人冶金學科ニ十九人選修生十二人入學ヲ許可セリ

三月三十一日新營ノ教室一棟(二階建木造百十二坪五合)竣成ス
本校附屬鑛手養成部ヲ設置シ四月ヨリ授業ヲ開始ス

十月二日開校十年紀念祭ヲ舉行シ同時ニ校舎ヲ開放シ且ツ鑛業展覽會ヲ開設シテ汎ク公衆ノ觀覽ニ供セリ

第三法 令

一 專門學校令 (抄) (勅令第六十一號 (明治三十六年三月二十七日))

第一條 高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校トス

法 令(專門學校令抄)

專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ニ依ルヘシ

第五條 專門學校ノ入學資格ハ中學校若クハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ美術音樂ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ニ就テハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

前項檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第六條 專門學校修業年限ハ三ヶ年以上トス

第七條 專門學校ニ於テハ豫科研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第八條 官立專門學校ノ修業年限學科學科目及其ノ程度竝豫科研究科及別科ニ關スル規定ハ文部大臣之ヲ定ム

二 實業學校令 (抄)

勅令第二十九號
(明治三十二年二月七日)

第一條 實業學校ハ工業農業商業等ニ從事スル者ニ須要ナル教育ヲ

爲スヲ以テ目的トス

第二條 實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校及工

業補習學校トス

第二條ノ二 實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校

トス

實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル

三 專門學校入學者檢定規定

文部省令第十四號
(明治三十六年三月三十一日)

明治三十六年勅令第六十一號專門學校令第五條第二項ニ依リ專門學校入學者檢定規程ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一條 專門學校ノ本科ニ入學セントスル者ニシテ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業セサル者ハ此規程ニ依リ檢定ヲ受クヘキモノトス

法令(專門學校入學者檢定規定)

第二條

檢定ヲ受ケントスル者ハ左ノ資格ヲ具備スルヲ要ス

- 一、 年齢男子ハ滿十七年以上女子ハ滿十六年以上ナルコト
- 二、 身體健全ナルコト
- 三、 品行方正ナルコト
- 四、 現ニ中學校若クハ高等女學校ニ在學セサルコト

第三條

檢定ヲ分テ試験檢定無試験檢定ノ二トシ試験檢定ハ官立公

立ノ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ニ於テ便宜之ヲ行ヒ無試験檢定ハ當該專門學校ニ於テ生徒入學ノ際之ヲ行フ

第四條

試験檢定ノ學科目及其ノ程度ハ中學校若ハ修業年限四箇年

ノ高等女學校ノ各學科目及其ノ卒業ノ程度トス但シ中學校若ハ高等女學校ニ於テ加除シ又ハ課セサルコトヲ得ル學科目ハ之ヲ省ク

第五條

官立公立ノ中學校若ハ高等女學校ニ於テハ試験檢定ニ合格

シタル者ニハ試験檢定合格證書ヲ交付スヘシ

第六條

官立公立ノ中學校若ハ高等女學校ニ於テハ試験檢定ノ問題

答案及成績ハ五箇年以上保存スヘシ

第七條

官立公立ノ中學校若ハ高等女學校ハ試験檢定手数料ヲ徵收

スルコトヲ得

第八條

左ニ掲クル者ハ無試験檢定ヲ受クルコトヲ得

- 一、 文部大臣ニ於テ專門學校ノ入學ニ關シ中學校若ハ修業年限四箇年ノ高等女學校ノ卒業生ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定シタル者

四 文部省直轄學校外國人特別入學規程

文部省令第十五號
(明治三十四年十一月十一日)

第一條

外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラ

ス所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省

法令(文部省直轄學校外國人特別入學規程)

在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限り特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ願出ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限り之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限ニアラス

第四條 本校ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試験ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試験料、入學料及授業料ヲ徴收セサルコトヲ得

第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

附 則

第七條 本令施行ノ際文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス在學スル外國人ハ本令ニ依リ入學シタルモノト看做ス

第八條 明治三十三年文部省令第十一號文部省直轄學校外國委託生ニ關スル規定ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

五 文部省直轄學校外國人特別入學規程ヲ
臺灣人若クハ朝鮮人ニ準用 (文部省令第十六號
(明治四十四年四月四日))

文部省直轄學校外國人特別入學規程ハ臺灣人若クハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス但シ其ノ入學ニ關シテハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

六 文部省直轄諸學校官制 (抄) (勅令第八十六號
(明治二十六年八月二十五日))
「明治四十三年三月二十六日勅令第六十六號ヲ以テ本校ヲ加ヘラル」

第一條 文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ
法令(文部省直轄學校外國人特別入學規程ヲ臺灣人若クハ朝鮮人ニ準用) 文部省直轄諸學校官制) 二五

東京高等師範學校	廣島高等師範學校	東京女子高等師範學校
奈良女子高等師範學校	盛岡高等農林學校	鹿兒島高等農林學校
上田蠶絲專門學校	東京高等蠶絲學校	京都高等蠶絲學校
神戸高等商業學校	長崎高等商業學校	山口高等商業學校
小樽高等商業學校	第一高等學校	第二高等學校
第三高等學校	第四高等學校	第五高等學校
第六高等學校	第七高等學校造士館	第八高等學校
新潟高等學校	松本高等學校	松山高等學校
山口高等學校	水戸高等學校	山形高等學校
佐賀高等學校	千葉醫學專門學校	岡山醫學專門學校
金澤醫學專門學校	長崎醫學專門學校	新潟醫學專門學校
東京高等工業學校	大阪高等工業學校	京都高等工藝學校
名古屋高等工業學校	熊本高等工業學校	米澤高等工業學校

桐生高等工業學校 橫濱高等工業學校 廣島高等工業學校
 秋田鑛山專門學校 東京外國語學校 東京美術學校
 東京音樂學校 東京盲學校 東京聾啞學校

第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
 教授
 生徒監
 助教
 書記

第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ
 所屬職員ヲ監督ス

第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌
 ル

第九條 生徒監ハ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒監ハ校長ノ指揮ヲ承ケ専ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス

第十七條 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サ

ル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大

臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシ

ムルコトヲ得

第十九條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設ク

ルコトアルヘシ其委員ハ文部大臣之ヲ命ス

七 文部省直轄諸學校職員定員令 (抄)

勅令第九十九號
(明治三十五年三月二十八日)

「大正二年六月十三日勅令第百八十三號、大正四年十二月二十八日勅令第
百三十六號、大正九年十二月五日勅令第四百八十七號ヲ以テ本校定員改正」

文部省直轄諸學校專任教員ノ定員左ノ如シ

秋田鑛山専門學校	校長	一人	教授	一五人	助教授	一人	書記	五人
----------	----	----	----	-----	-----	----	----	----

八 文部省直轄諸學校校長職務規程 (庶務第七二號大正二年六月二十三日)

第一條 校長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及高等官ノ進退ニ付意見ヲ具

ヘテ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得

第二條 校長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ經テ高等官ヲシテ其

ノ事務ヲ代理セシム

第三條 左ノ事項ハ校長之ヲ專行スヘシ但シ第六號及第八號ニ關シ

テハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ

第一 教官ノ學科擔任及事務員ノ分課ヲ定ムルコト

第二 規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト

第三 俸給月額八拾五圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト

法令(文部省直轄諸學校校長職務規程)

法令(同一人ニシテ文部省直轄諸學校中ノ二個以上ノ學校ニ入學ヲ出願シタル者ノ入學方)

三〇

第四 職員以下ノ内國各地出張ニ關スルコト

第五 職員以下ノ除服出仕請暇ニ關スルコト

第六 講師ノ解囑及其ノ報酬減額ニ關スルコト

第七 經費中ノ目ヲ流用スルコト

第八 三日以内ノ臨時休業ヲナスコト

第四條 前條ニ掲ケタルモノノ外文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

九 同一人ニシテ文部省直轄諸學校中ノ二個以

上ノ學校ニ入學ヲ出願シタル者ノ入學方

(文部省告示第二百十三號
明治四十三年九月六日)

同一人ニシテ東京帝國大學農科大學農學實科同林學實科同獸醫學實科東北帝國大學農科大學豫科同附設農學實科同附設土木工學科同附設林學科同附設水產學科東北帝國大學附屬醫學專門部同附屬工

學專門部並文部省直轄諸學校中ノ二箇以上ノ學科專門部若ハ學校ニ入學ヲ出願シタル者ハ其ノ最前ニ入學ヲ許可セラレタル學科專門部若クハ學校ニ入學スヘキモノトス但シ同時ニ二箇以上ノ學科專門部若クハ學校ニ入學ヲ許可セラレタル者ノ入學スヘキ學科專門部若クハ學校ハ本人ノ撰擇ニ任ス

十 文部省直轄學校生徒他ノ文部省直轄學校ノ

入學試験ヲ受クルノ件

(文部省令第十八號
明治三十八年十月二十八日)

文部省直轄學校ノ生徒ニシテ豫メ學校長ノ許可ヲ受ケス他ノ文部省直轄諸學校ノ入學試験ヲ受ケタルトキハ其ノ入學試験ハ無効トス

十一 帝國大學及文部省直轄諸學校雇外國人使

用ニ關スル規程

(勅令第九十六號
明治二十六年九月十一日)

帝國大學及文部省直轄諸學校ニ於テ學科教授ノ必要アルトキハ帝國大學總長及直轄諸學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ雇外國人ヲシテ教

法令(文部省直轄學校生徒他ノ文部省直轄學校ノ入學試験ヲ受クルノ件)(帝國大學及文部省直轄諸學校雇外國人使用ニ關スル規程)

三一

官ノ職務ニ當ラシムルコトヲ得

十二 秋田鑛山專門學校ノ位置及授業開始

文部省告示第二百二十八號
(明治四十三年十一月四日)

秋田鑛山專門學校ノ位置ヲ秋田縣南秋田郡旭川村(現今市部ニ編入セ
ラレ秋田市手形ト稱ス)トシ明治四十四年四月ヨリ授業ヲ開始ス

十三 秋田鑛山專門學校規程 (抄)

文部省令第三十四號
(明治四十三年十二月十六日)

「大正三年一月十六日文部省令二號大正七年四月十五日文部省令第六號、
大正九年十二月二十日文部省令第三十五號ヲ以テ改正」

第一條 秋田鑛山專門學校ノ修業年限ハ三箇年トス

第二條 秋田鑛山專門學校ノ學科ハ分チテ採鑛學科冶金學科トス

第三條 秋田鑛山專門學校各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但
シ必要ノ場合ニ於テハ教授定時間外又ハ休業期間ニ於テ臨時講
演ヲ聽カシメ又ハ實習ヲ課スルコトアルヘシ

(學科目等略之)

第四條 卒業者ニシテ既修ノ學科目ニ就キ研究セントスル者ハ研究
生トシテ二箇年以内在學セシムルコトヲ得

第五條 各學科ノ學科目ノ中ニ就キ特修センコトヲ願出ツル者アル
トキハ選修生トシテ入學ヲ許可スルコトヲ得

十四 專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ

秋田鑛山專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者

ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノノ指定

文部省告示第二百三十八號
(明治四十三年十二月十六日)

「大正二年四月二十九日文部省告示第二百二十二號ヲ以テ改正」

明治三十六年文部省令第十四號專門學校入學者檢定規程第八條第一
號ニ依リ左記ノ者ヲ秋田鑛山專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト
同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定ス

法 令(專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ秋田鑛山專門學校ノ
入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノノ指定)
(本校卒業生ニ關スル認定)

一、工業學校卒業者

十五 本校卒業生ニ關スル認定

本校卒業生ハ東北帝國大學理科大學ノ入學ニ關シ高等學校大學豫科卒業者ト同等ノ學力ヲ有スルモノト認定セラル(明治四十四年六月十九日(文部省專門學務局長通牒))
大正三年三月以降ノ本校卒業生ニシテ卒業後五ヶ月以上火藥類ノ取扱ニ干與シタル履歴ヲ有スル者ハ甲種火藥取扱免狀ヲ受クルノ資格アリト認メラル(大正三年四月十一日(文部省專門學務局長通牒))

本校卒業生ニシテ中等學校教員志望ノモノニハ左ノ學科ニ限り無試験檢定ニヨリ教員免許狀ヲ下附セラル文部省告示第五十二號(大正五年三月三十日)

採鑛學科 鑛物 (當該學科成績優等ノ者ニ限ル)
冶金學科 化學 (當該學科成績優等ノ者ニ限ル)

十六 秋田鑛山專門學校商議委員會規程

第一條 文部省直轄諸學校官制第十九條ニ依リ秋田鑛山專門學校ニ

商議委員會ヲ置ク

第二條 商議委員會ハ左ノ人員ヲ以テ會員トス

文部々内高等官

二名以内

農商務部内高等官

一名

鑛山事業ニ知識經驗アル者

五名以上
十名以内

商議委員ノ任期ハ二箇年トス但シ滿期ノ後再任スルコトヲ得

第三條 商議委員會ハ學校長之ヲ開キ文部大臣ノ諮問スル事項又ハ學校長ニ於テ必要ト認ムル事項ヲ審議スルモノトス但シ商議委員ニ於テ意見アルトキハ之ヲ議案トナスコトヲ得

第四條 商議委員會ノ議事ニ關スル規程ハ委員會ニ於テ之ヲ議定スルコトヲ得

第五條 商議委員會ノ決議ハ學校長ヨリ之ヲ文部大臣ニ報告スヘシ

十七 海軍造船機造兵生徒規則 (抄) (海軍省令第四號(大正七年六月二十六日))

第一條 海軍造船生徒、造機生徒及造兵生徒令第一條ニ依ル學校ハ(中略)秋田鑛山専門學校(後略)トス

第二條 海軍造船生徒、造機生徒及造兵生徒志願者ハ當該(中略)學校長ヲ經由シ願書(書式一號)ニ履歷書(書式二號)及戶籍謄本ヲ添ヘ海軍技術本部長ニ出願スヘシ(後略)

第三條 海軍造船生徒、造機生徒又ハ造兵生徒ヲ命スルハ海軍技術本部長當該(中略)學校長又ハ海軍工作廳長ト協議シ之ヲ定ム

第四條 海軍造船生徒、造機生徒又ハ造兵生徒ヲ命セラレタル者ハ當該(中略)學校長ヲ經由シ誓約書(書式三號)及身元引受證書(書式四號)ヲ海軍技術本部長ニ差出スヘシ(後略)

第五條 海軍造船生徒、造機生徒及造兵生徒ハ當該(中略)學校長ノ監督ヲ受ケ該校一般ノ規則ヲ遵守スヘシ(書式略)

第四 商議委員及職員

農商務省鑛山局長

農商務省鑛山局長

工學博士 崎川才四郎
工學博士 原田鎮治
工學博士 山田直矢
工學博士 小田川全之
工學博士 內藤久寬

工學博士 坂仲輔
工學博士 竹內維彦
工學博士 中田錦吉
工學博士 和田維四郎
工學博士 田中隆三

貴族院議員

農商務次官、衆議院議員

商議委員及職員(商議委員)

商議委員及職員(職員)

東京帝國大學教授
東京帝國大學教授

工學博士 舟橋了助
工學博士 桂辨三

職員

校長

工學博士 橫堀治三郎

教授

冶金學、工業燃料學、特別講義、冶金學實習
探礦學、採礦學實習

工學士 高橋昌二
工學士 三浦勝

(化學特別分析、火藥學、火藥學實習)

外國留學中

英語、圖書課長

工學士 小屋道治
文學士 竹山成美

(鑛床學、地質學、鑛物學)

外國留學中

電氣工學、材料強弱學、水力學、製圖、電氣工學實習
冶金學汎論、電氣冶金學、電氣冶金學實習、試金術試金術實習

工學士 大橋良一
工學士 守屋義雄
工學士 佐藤廣太

鐵冶金學、製造冶金學、製圖、鐵試金術實習、金屬組織學實習

工學士 黑川賢次郎

探礦學、採礦學、鑛山測量及實習、探礦學實習

數學、物理學、物理學實驗

生徒監

理學士 浦川敏介
文學士 的場鐵哉
文學士 下川履信

修身、獨逸語、教務課長

講師 (囑託願)

鐵業法令

法學士 田中隆三

探礦學

工學博士 舟橋了助

石油地質學、石油地質學實習、鑛井術

理學士 伊木常誠

經濟及簿記

工學士 渡邊次郎

化學、化學工業、石油化學、石油化學實驗

工學博士 大島義清

鑛山變遷論、鑛山鑑定法

工學士 上野景明

鑛物學、地質學、鑛床學、鑛物學及地質學實習

理學士 矢作菊藏

工場衛生及救急術

醫學士 西山員光

職員

職員

測量、工場建築

工學士

東森藏

土木工程

工學士

來島良亮

鑛山機械學

工學博士

加茂正雄

化學、化學分析、特別分析、火藥學、火藥學實習

工學士

二宮保孝

冶金學、冶金學實習

工學士

坪井美雄

助教

數學、物理學、物理學實驗

工學士

杉本儀藏

礦物學、礦物學及地質學實習、列品室監督主任

工學士

小泉忠夫

機械學、熱機關學、機械工作、機械工學實習、製圖、校房係

工學士

石黒浩

測量及實習

工學士

佐々木徳太

化學分析、特別分析

工學士

井村潔

製圖、採鑛學實習

工學士

朝倉景正

試金術實習、金屬組織學實習、吹管分析、冶金學實習、鐵試金術實習、製圖

工學士

川崎浦次

講師 (囑託)

體操

陸軍歩兵曹長

梅津忠尙

體操、教務課、寮務掛

陸軍歩兵曹長

山口龍輔

會計課長

陸軍歩兵中尉

三谷哲夫

會計課

陸軍歩兵中尉

石澤好三

教務課、寮務掛

陸軍歩兵中尉

梅津忠尙

劍道

陸軍歩兵中尉

上遠野秀忠

柔道

陸軍歩兵中尉

伊達芳太郎

校醫

醫學士

橫田道之助

醫學士

橫田道之助

職員

庶務	藤崎鐵藏
會計	川尻豐吉
會計	來栖久治
土木、測量	豐澤義隆
圖書	戶島禎次郎
機械、電氣	島田龍治
化學	根田善太郎
教務	小幡壽吉
鑛物、地質	鈴木毅
物理	石澤治亮
機械	岩城直藏
探鑛	佐藤哲三
物理	中野德太郎

會計 石川賢造

治金 小川忠男

治金 小川定明

圖書 守谷勝彌

化學 小泉保威

治金 龜海元作

電氣 栗原菊治

第一對三本野之會社... 第二對三本野之會社... 第三對三本野之會社... 第四對三本野之會社... 第五對三本野之會社... 第六對三本野之會社... 第七對三本野之會社... 第八對三本野之會社... 第九對三本野之會社... 第十對三本野之會社...

董事

職員

第五 規則

一 秋田鑛山專門學校規則

第一章 總則

第一條 本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ高等ノ學術、技藝ヲ教授スルヲ以テ目的トス

第二條 本校本科ノ學科ヲ分チテ採鑛學科、冶金學科トス

第三條 修業年限ハ各三ケ年トス

第四條 本校ニハ研究生及選修生ヲ置クコトアルヘシ

第五條 研究生及選修生ニ關シテハ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外本科生ニ關スル規定ヲ準用ス

第二章 學科課程

第五條 各學科ノ學科課程ハ左ノ如シ但シ必要ノ場合ニ於テハ定時

間外又ハ休業期間ニ於テ講演ヲ聽カシメ又ハ實習ヲ課スルコトアルヘシ

(學科目等別紙)

第三章 學年、學期及休業日

第六條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第七條 學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期ハ四月一日ニ始マリ八月三十一日ニ終ル

第二學期ハ九月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三學期ハ一月一日ニ始マリ三月三十一日ニ終ル

第八條 休業日ハ左ノ如シ但シ休業中ト雖モ實習又ハ實驗ヲ課スル

コトアルヘシ

一、日 曜 日

一、大祭祝日

- 一、開校記念日 十月一日
- 一、春季休業 (自四月十日)
- 一、夏季休業 (自七月十日)
- 一、冬季休業 (自十二月二十五日)

第四章 入學、在學、退學及懲戒

第九條 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始メトス

第十條 各學科第一學年ニ入學ヲ許スヘキ者ハ品行方正志望鞏固年齡滿十七歲以上二十五歲以下ノ男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ且入學檢定及體格檢査ニ合格シタルモノタルヘシ

- 一、中學校ヲ卒業シタル者
- 二、專門學校入學者檢定規程ニ據ル試驗檢定ニ合格シタル者
- 三、專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ一般專門學校ノ入學ニ關シ無試驗檢定ノ指定ヲ受ケタル者

四、工業學校ヲ卒業シタル者

第十一條 中學校又ハ工業學校ニ在學スル者ニシテ該學年三月末ニ卒業スヘキ見込アリト當該學校長ヨリ認定セラレタル者ニ限リ前條卒業者ニ準スルコトヲ得但シ本文ニヨリ志願シタルモノニシテ卒業試驗ニ落第シタルトキハ無効トス

第十二條 入學檢定ヲ分チテ無試驗檢定及試驗檢定トス
無試驗檢定ハ中學校ヲ卒業シタル入學志願者ニシテ二學年以上(第四學年及第五學年)當該學校ニ在學シ最終學年學科ノ成績其學級ノ及第者中首位ヨリ起算シ全數ノ十分ノ一ニ至ル迄ノ席次ヲ有スル者ニ限リ卒業後ノ翌年迄之ヲ行ヒ其他ノ入學志願者ニハ試驗檢定ヲ行フ

無試驗檢定志願者ノ體格ハ先ツ體格檢査證ニ依リ之ヲ檢定シ入學前更ニ本校ニ於テ檢査ヲ行フモノトス

第十三條 第十一條ニヨリ無試験檢定ヲ受クヘキ資格アリト當該學校長ニ於テ認定スル者ノ最終學年ニ於ケル學科ノ成績ハ第一學期及第二學期ニ於ケル各席次及各成績ヲ準用ス

第十四條 試験檢定ノ學科目ハ作文、英語(但獨逸語ニ依ルコトヲ得)數學、物理、化學(無機)トシ中學校卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フ

第十五條 入學ヲ出願スル者ハ第二條ニ掲ケタル學科中ニ就キ其志望學科ヲ定メ左ノ書類ニ入學檢定手数料及寫眞(入學出願前六ヶ月以内ニ撮影シタル脱帽半身手札形)ヲ添ヘ學校長ニ差出スヘシ

一、入學願書第一號書式)

二、履 歷 書(第二號書式)

三、第十條第一號第三號又ハ第四號ニ該當スル學校長ノ卒業證明書(第四號書式)若クハ第二號ノ合格說明書(第三號書式)

四、無試験檢定ヲ受クル者ハ最終學年ノ席次及成績表(第五號書

式及體格檢査證(第六號書式)

第十六條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ其ノ許可ノ日ヨリ二十日以内ニ保證人ノ署名セル誓書(第七號書式)及戶籍謄本ヲ本校ニ差出スヘシ

第十七條 保證人ハ成年以上ノ男子ニシテ秋田市又ハ同市附近ニ居住シ生徒在學中ニ係ル一切ノ事件ニ就キ其ノ責ニ任スヘキモノタルヘシ秋田市又ハ同市附近ノ地ニ於テ保證人ヲ得難キトキハ父兄又ハ後見人ヲ以テ保證人ト爲スコトヲ得

第十八條 保證人死去若クハ前條ノ資格ヲ失ヒタルトキ又ハ學校長ニ於テ不適當ナリト認メタルトキハ更ニ保證人ヲ定メ直ニ誓書ヲ本校ニ差出スヘシ

第十九條 保證人改姓改名轉籍若クハ改印等ヲ爲シタルトキハ速ニ届出ツヘシ

第二十條 一旦退學シタル者ニシテ學年ノ始ニ當リ再入學ヲ願出テタルトキハ缺員アル場合ニ限り詮議ノ上試験ヲ行ヒ原級以下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ但シ場合ニ依リ試験ヲ省略ス試験ノ全部ヲ省略シタルトキハ入學檢定手數料ヲ徵收セス

第二十一條 生徒ハ本校所定ノ制服制帽ヲ着用スヘシ但シ實習ノ際特別ノ服裝ヲ要スル場合ハ此ノ限ニアラス

第二十二條 生徒疾病其ノ他已ムヲ得サル事由ニ依リ缺席シタル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ三日以内ニ届出ツヘシ但シ病氣ノ爲メ缺席七日以上ニ亘ル者ハ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

第二十三條 生徒疾病ニ依リ引續キ三ヶ月以上修業シ能ハサルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添へ保證人連署ヲ以テ願書ヲ學校長ニ差出し許可ヲ得テ其學年間休學スルコトヲ得

但シ其事由消滅シタルトキハ許可ヲ得テ休學ヲ取消スコトヲ得

第二十四條 生徒在學中兵役ニ服スル者ハ學校長ノ許可ヲ得テ其ノ間休學スルコトヲ得

前項ニ依テ休學ヲ許可セラレタル者服役終リタルトキハ直ニ原級ニ復歸スヘシ

第二十五條 生徒改姓改名轉籍轉居若ハ改印ヲ爲シタルトキハ其ノ旨直ニ届出ツヘシ但シ改姓改名轉籍ニハ戶籍抄本ヲ添フルヲ要ス

第二十六條 生徒ハ學校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ他ノ學校ニ入り又ハ他ノ學校若クハ官署ニ於ケル各種ノ試験ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ許可ヲ受クルニハ其ノ事由ヲ具シ保證人連署ノ上其ノ旨願出ツヘシ

第二十七條 生徒已ムヲ得サル事由ニ依リ退學セントスルトキハ其

ノ事由ヲ具シ保證人連署ノ上學校長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ但シ疾病ニ因リ退學セントスル場合ニ於テハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

第二十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命ス

一、性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
二、學業劣等若ハ身體虛弱等ニ依リ成業ノ見込ナシト認メタル者

三、引續キ一ケ年以上缺席シタル者但シ休學ノ許可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニアラス

四、正當ノ理由ナクシテ引續キ三十日以上缺席シタル者

五、正當ノ事由ナクシテ屢缺席シ出席常ナラサル者

六、授業料納付ノ督促ヲ受クルモ尙之ヲ怠ル者

第二十九條 生徒ニシテ校規命令又ハ訓育ノ趣旨ニ違背シ其ノ本分

ヲ失ヘリト認ムヘキ行爲アル者ハ學校長之ヲ懲戒ス

懲戒ハ分チテ譴責、停學、放校トス

第五章 修業及卒業

第三十條 各學年ノ課程修了ハ該學年中平素ノ勤惰及學業ノ成績等ヲ考査シテ之ヲ定ム

第三十一條 前條ノ考査ニ合格セサル者ニハ次學年ノ始メヨリ原級ノ課程ヲ再修セシムルモノトス

第三十二條 已ムヲ得サル事由ニ依リ試験ニ缺席シタル者追試験ヲ受ケンコトヲ願出ツルトキハ詮議ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ此場合ニ於テハ次學期始業後二週間以内ニ之ヲ行フ

第三十三條 第三學年ノ課程ヲ修了シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第三十四條 第三學年ノ成績考査ニ合格セサル者ニハ本人ノ希望ニ

依リ詮議ノ上修業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第三十五條 成績考査ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第六章 特待生

第三十六條 生徒品行方正ニシテ一學年中ノ成績優良ナル者ハ學校

長之ヲ選ミテ次學年間特待生ト爲スコトアルヘシ

第三十七條 特待生ニハ授業料ヲ徵收セス

第三十八條 特待生ニシテ其資格ヲ失ヒタルトキハ直ニ之ヲ罷ム

第七章 入學檢定手數料、授業料、實習實驗費

第三十九條 入學檢定手數料ハ金參圓トス

第四十條 授業料ハ一學年本科生及研究生ハ金參拾圓、選修生ハ金貳

拾圓トス

外國人ニシテ特別ニ入學ヲ許可セラレタル者ノ授業料ハ一學年

本科生及研究生ハ金六拾圓、選修生ハ金四拾圓トス

第四十一條 授業料ハ一箇年ヲ左ノ三期ニ分チ每期ノ始メニ於テ之

ヲ徵收ス

本科生及研究生

選修生 外國人本科生及研究生

同選修生

第一期 自八月 至八月 金拾貳圓

金八圓 金貳拾圓

金拾五圓

第二期 自九月 至十二月 金拾圓

金七圓 金貳拾圓

金拾五圓

第三期 自一月 至三月 金八圓

金五圓 金貳拾圓

金拾圓

第四十二條 研究生及選修生ニハ實習、實驗ニ要スル費用ノ全部若ハ

一部ヲ徵收スルコトアルヘシ

第四十三條 入學檢定手數料、授業料及實習實驗費ハ一旦納付ノ後ハ

何等ノ事由アリト雖モ之ヲ返付セス

第四十四條 實業學校教員養成規程ニ依リ卒業後實業學校ノ教職ニ

従事セントスルコトヲ出願シタル者ニ對シテハ經伺ノ上其許否

決定ニ至ル迄授業料徵收ヲ猶豫シ許可セラレタル者ニ對シテハ

之ヲ免除ス

第四十五條 停學ヲ命セラレタル者又ハ休學ノ許可ヲ得タル者ハ其ノ期間内授業料ヲ徵收セス但シ授業料徵收期日以前ニ停學又ハ休學シタルトキハ其ノ月ノ授業料ハ本科及研究生ハ金參圓選修生ハ金貳圓外國人本科及研究生ハ金六圓同選修生ハ金四圓トシテ指定ノ日ニ於テ之ヲ納付スヘシ

第四十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ其ノ月ヨリ一箇月本科及研究生ハ金參圓選修生ハ金貳圓外國人本科及研究生ハ金六圓同選修生ハ金四圓ノ割ヲ以テ次ノ授業料納付期ノ前月迄ノ授業料ヲ指定期日内ニ納付スヘシ但シ第二號又ハ第三號ニ該當スル者ニシテ既ニ其ノ期ノ授業料納付済ノ者ハ此限ニアラス

一、 特待生ノ資格消滅シタル者

二、 停學ヲ解除セラレ就學シタル者

三、 休學ノ事故止ミ就學シタル者

四、 學期ノ半途ニ於テ入學ヲ許可セラレタル者

第四十七條 授業料ハ定日ニ納付スヘシ但シ定日以後ニ入學ヲ許可セラレタル者ハ入學許可ノ日ヨリ五日以内ニ之ヲ納付スヘシ

第四十八條 授業料ヲ定日ニ納付セサルトキハ本人ニ之ヲ催告ス尙納付セサルトキハ保證人ニ之ヲ催告ス

前項ノ催告ヲ受ケ納付セサルトキハ第二十八條ニ依リ處分ス

第八章 研究生

第四十九條 本校卒業者ニシテ既修ノ學科目ニ就キ更ニ研究セント欲スル者アルトキハ詮議ノ上、研究生トシテ二箇年以内在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第五十條 研究生タラント欲スル者ハ其ノ研究セント欲スル事項及在學ノ期間ヲ具シタル願書ヲ學校長ニ差出スヘシ

第五十一條 研究生ハ學校内ニ於テ教官指導ノ下ニ研究ニ従事スル

者トス但シ必要ノ場合ニ於テハ或ル期間ヲ限リ指導教官指揮ノ下ニ學校外ニ於テ研究スルコトヲ許可スルコトアルヘシ

第五十二條 研究生ハ其ノ研究事項ヲ結了シタルトキハ指導教官ヲ經テ研究報告書ヲ學校長ニ差出スヘシ

第五十三條 學校長ハ研究報告書ヲ考查シ其ノ成績佳良ナリト認めタルトキハ研究證明書ヲ授與ス

第九章 選修生

第五十四條 本校所定ノ各學科學科目ノ中ニ就キ特修センコトヲ願出ツル者アルトキハ詮議ノ上選修生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第五十五條 選修生トシテ入學ヲ許可スル者ハ左ノ各號ニ該當シ且本校ニ於テ適當ト認ムル者ニ限ル

一、品行方正身體強健ナル者

二、年齡十七年以上ノ者

三、三箇年以上引續キ志望學科目ニ關スル工業ニ従事セル者又ハ工業學校若クハ中學程度ノ學校卒業者

第五十六條 選修生ノ入學時期ハ毎學年ノ始メトス但シ特別ノ場合ニハ學年ノ半途ニ於テ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第五十七條 選修生ノ在學期間ハ三箇年以内トス

第五十八條 選修生ニシテ特修スル學科目ヲ修了シタル者ニハ本人ノ希望ニ依リ詮議ノ上修業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第十章 寄宿寮

第五十九條 寄宿寮ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

附 則

第六十條 第五條ハ大正十年四月一日ヨリ施行シ第十四條ハ大正十年三月施行ノ入學試験ヨリ適用ス

第六十一條 前條施行ノ際現ニ第二學年以上ニ在學スル生徒ニ課ス
ヘキ學科目及其程度ニ關シテハ新舊學科課程ヲ斟酌シテ學校長
之ヲ定ム

第一號書式 (用紙美濃)

入學願書

志望學科 第一志望何學科

(第二志望ナキ者ハ)

受驗希望ノ場所何地

(試驗檢定出願者ニ限ル但シ學校ニテ試
驗場ヲ二ヶ所以上トシ廣告シタル時)

私儀貴校へ入學志願候ニ付御許可相成度別紙履歷書、卒業證明書若ハ
専門學校入學者試驗檢定合格證明書、席次及成績表(無試驗檢定出願者
ニ限ル)入學檢定手数料並ニ寫真相添此段相願候也

現住所

本籍地

族稱、家業

戸主 (若ハ戸主トノ續柄)

入學志願者 何 某 印

年月日

年月日生

秋田鑛山専門學校長 何 某 殿

(備考) 本人氏名ニハ片假名ヲ附スヘシ

第二號書式 (用紙美濃)

履歷書

現在所

本籍地

族稱、戸主 (若ハ戸主トノ續柄)

何 某

年月日生

一、學業

規則(秋田鑛山専門學校規則)

何年何月ヨリ何年何月迄何地官公私立學校ニ於テ若ハ何某ニ就キ
何學修業何年何月何地官公私立何學校ニ於テ何々修業證書若クハ
卒業證書又ハ品行證明書別紙寫ノ通ヲ受ク其ノ他重要ノ事項

一、職業

何年何月何官職拜命若ハ何業ニ從事ス

何年何月退官廢業若ハ現今何官在職何業從事等

一、賞罰

何年何月何所ニ於テ何々ノ賞罰ヲ受ク等

一、家業

何業

右ノ通相違無之候也

年月日

何某印

第三號書式

證明書

族籍

何某

年月日生

右ハ專門學校入學者檢定規程ニ據リ年月日本校ニ於テ施行シタル試
驗檢定ニ合格シタル者ナルコトヲ證明ス

年月日

何地官公私立何學校長 何某印

第四號書式

卒業證明書

族籍

何某

年月日生

規則(秋田鐵山專門學校規則)

六四

右ハ年月日本校何學年ニ入學年月日全科ヲ卒業シタル者若ハ卒業ス
ヘキ見込ノ者ナルコトヲ證明ス

年月日 何地官公立何學校長 何某 印

第五號書式

(其一、卒業者ノ分)

席次及成績表

族 籍

氏 名

年月日生

學年別	學科目	何々	計	成績	席	次
	第五學年	何點	何點	何點	何	及第者何人中番

年月日 何地官公立何學校長 何某 印

(第二未卒業者ノ分)

席次及成績表

族 籍

氏 名

年月日生

學年及學期別	學科目	何々	計	成績	席	次
	第五學年 第一學期	何點	何點	何點	何	受驗者何人中番
同	第二學期	何點	何點	何點	同	

年月日 何地官公立學校長 何某 印

第六號書式

體格檢查證

規則(秋田鐵山專門學校規則)

六五

現住所
本籍地
族籍

何某
年月日生

體身 體身 胸圍 中心

常(盈) 虛(ノ) 差時重長格

聽力 有障害無ノ

色盲

眼疾
耳疾

呼吸 神經 血行 皮膚 言語

既往及現在ノ疾病又ハ畸形
右検査候處相違無之候也

検査年月日

現住所

何學校學校醫
學位(資格) 何某 印

第七號書式

規則(秋田鑛山專門學校規則)

參 入 錢
收 入 紙
印

誓 書

私儀今般貴校へ入學許可相成候ニ付テハ校規命令及訓育ノ御趣旨ヲ
遵守シ専心學業ヲ勉勵可致候仍テ誓書如此候也

現住所

本籍地

族籍、戶主(若ハ戶主トノ續柄)

何 某 印

年月日生

右何某在學中御規則等堅ク相守ラセ候事ハ勿論退學後タリトモ同人
在學中ニ係ル一切ノ事件ハ拙者ニ於テ引受可申候此段保證仕候也

現住所

本籍地

族籍、職業

保證人

何 某 印

年月日生

秋田鑛山専門學校長 何 某 殿

年月日

學科目	第一學期			第二學期			第三學期			身
	授時	數	週	授時	數	週	授時	數	週	
	1	2	3	1	2	3	1	2	3	
修身										
英語										
獨逸										
數學										
物理學										
物理學實驗										
化學										
化學分析										
特別分析										
吹管分析										
鑛物學										
鑛物學及地質學實習										
鑛床學										
探鑛學										
探鑛學實習										
火藥學										
火藥學實習										
撰鑛學										
撰鑛學實習										
×鑿井術										
×石油地質學										
×石油地質學實習										
×石油地質學										
×石油地質學實習										
×石油化學										
×石油化學實驗										
試金術										
試金術實習										
冶金學										
測量										
測量實習										
鑛山測量及實習										
工業燃料學										
土木工學										
機械工學										
機械工學實習										
電氣工學										
電氣工學實習										
鑛業法令										
經濟及簿記										
鑛山變災論										
鑛山鑑定法										
工場衛生及救急術										
製圖										
體操										
計										
校外實習										
測量實習										
地質實習										
鑛物實習										
探鑛實習										
春季										
夏季										

備考
 表中××ヲ附スル學科目ハ特ニ石油鑛業ニ就キ專修セントスル者ニ課シ其者ニハ第三學年ノ探鑛學、撰鑛學及第二學期以後ノ探鑛學實習、撰鑛學實習ヲ課セザルモノトス
 實習及ハ實驗等ノ爲メ必要アルトキハ修身ヲ除ク外學校長ニ於テ臨時前項ノ每週教授時數ヲ増減スルコトヲ得

冶金學科

學 科 目	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
修 身	1	1	1	1	1	1	1	1	1
英 語	5	3	3	3	3	3	1	1	1
獨 逸	4	2	2	2	2	2	1	1	1
數 學	4	3	3	2	2	2	1	1	1
物 理	4	4	4	2	2	2	1	1	1
物 理 學 實 驗	3	3	3	2	2	2	1	1	1
化 學	3	3	3	2	2	2	1	1	1
化 學 分 析	6	6	6	9	9	6	3	3	3
特 別 分 析									
吹 管 分 析									
鑛 物 學	3	2	3						
地 質 學	2	2	3						
鑛物學及地質學實習	2	2	1						
探 礦 學									
冶 金 學 汎 論	2	2	2	3	3	2	2	2	2
冶 金 學 實 習									
冶 金 學 汎 論									
鐵 冶 金 學									
製 造 冶 金 學									
電 氣 冶 金 學									
電 氣 冶 金 學 實 習									
火 藥 學 實 習									
火 藥 學									
撰 文									
試 金 術 實 習									
試 金 術									
×鐵試金術實習									
×金屬組織學實習									
測 量 及 實 習									
工 業 燃 料 學									
土 木 工 學									
化 學 工 業									
機 構 工 學									
材 料 強 弱 學									
水 力 學									
熱 機 學									
鑛 山 機 械 學									
電 氣 工 學									
機 械 工 學 實 習									
機 械 工 學 實 習									
電 氣 工 學 實 習									
工 場 建 築									
鑛 業 法 令									
經 濟 及 簿 記									
特 別 講 義									
工場衛生及救急術									
製 圖	7	4	5	6	6	3	6	3	6
體 操	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計 算	39	39	39	39	39	39	39	39	39
校 外 實 習									
冶 金 實 習									
春 季									
夏 季									

備 考
 表中×ヲ附スル學科目ハ特ニ鐵冶金ニ就キ專修セントスル者ニ課シ其者ニハ第三學年ノ治
 金學實習ヲ課セサルモノトス
 實習又ハ實驗等ノ爲メ必要アルトキハ修身ヲ除外學校長ニ於テ臨時前項ノ每週教授時數
 ヲ増減スルコトヲ得

選科入學者修業者及在學生年度別一覽表

計	冶金學科	
	計	入學者數
三〇八	八三	一
五	一	一
一五	一	一
一	一	一
三〇〇	八二	一
三	七	一
四	一	一
三	一	一
一八七	七七	

三、選科入學者、修業者及在學生年度別一覽表

(自明治四十四年四月
至大正九年三月)
*印ハ外國人入學者ヲ示ス

年度	明治四十四年度		明治四十五年度		年別	入學者數	中途退學者數	修業生數	在學生數	備考
	計	採鍊學科	計	採鍊學科						
大正三年	一	一	一	一	採鍊學科			一	一	大正三年三月修業
大正四年	一	一	一	一	採鍊學科			一	一	大正三年三月修業
大正五年	二	二	二	二	採鍊學科			二	二	大正三年三月修業 內二名大正四年三月修業 *大正五年三月修業
大正六年	二	二	二	二	採鍊學科			二	二	大正四年三月修業
大正七年	二	二	二	二	採鍊學科			二	二	大正五年三月修業
大正八年	二	二	二	二	採鍊學科			二	二	大正六年三月修業
大正九年	二	二	二	二	採鍊學科			二	二	大正七年三月修業
計	二〇	二〇	二〇	二〇	計	二〇	二〇	二〇	二〇	

選科入學者修業者及在學生年度別一覽表

年度	大正三年度		大正四年度		大正五年度		大正六年度		大正七年度	
	計	採鍊學科	計	採鍊學科	計	採鍊學科	計	採鍊學科	計	採鍊學科
大正三年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
大正四年	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
大正五年	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
大正六年	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
大正七年	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
大正八年	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
大正九年	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
計	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇

生徒(探礦學科)

加賀屋 久之助 秋田 第一學年(三十九名)

鈴木 東	新田 佐野 徹	藤部 芳一郎	秋田	田邊 房次	香川
原 敏樹	佐賀 高島 孝之助	高砂 子重吉	秋田	千和 虎次郎	秋田
小貫 德也	秋田 御水 三儀	三幣 正一	秋田	高橋 五郎	宮城
井上 格馬	愛媛 眞崎 季隆	仲田 啓德	鳥取	伊藤 宗順	鳥取
本田 己六	長崎 丹羽 憲三	川邊 謙造	秋田	千葉 庄助	秋田
弘田 知己	福島 角 力	丹 桂之助	秋田	堀米 晉三	山形
鈴木 治助	新潟 太田 忠雄	赤川 東吉	秋田	東 秀男	山形
武富 二平	佐賀 志賀 隆壽	岩野 豐	山形	飯田 染治	秋田
久保 滿	東京 坂木 辰衛	中村 權六	青森	土屋 四郎	新潟
小島 忠三	秋田 小野 寺牧夫	石田 道之助	秋田		
選修生(二十五名)					
平野 誠	秋田 藤澤 榮	鹿兒島 番場 勇次郎	秋田	河村 章	秋田
東 久一	岡山 馬淵 清一	秋田 小笠原 六郎	秋田	茂呂 泰晴	秋田
青木 久次郎	秋田 原田 市五郎	山形 各務 軍次郎	秋田	佐藤 景太郎	秋田
今井 澄	大阪 李 慶宗	支那 王 春生	支那	王 鍾	支那

二、冶金學科

第三學年 (三十三名)

周 作民	支那 王 恒顯	支那 王 昭章	支那 張 樹聲
陳 培銓	支那 徐 世淵	支那 張 德啓	支那 王 鴻緒
謝 祐	支那		

堀田 彌太郎	千葉 百木 健	大阪 日塔 庄三郎	山形 白澤 淳一
星 達二郎	新潟 渡邊 一郎	千葉 小平 武	青森 工藤 素生
渡邊 武雄	福島 植田 房雄	大分 高田 智彦	東京 下村 民輔
小野 實	福島 大鹿 秀三	東京 山下 敬喜	熊本 堀 明夫
三好 穰二	大阪 熊谷 幾也	秋田 那小屋 定雄	秋田 村中 繁生
酒出 忠雄	秋田 小蘭 井澄	秋田 高橋 隆	宮城 境田 武太郎
塚原 照	栃木 高 輔茂	茨城 山本 善秀	富山 田原 義男
藤田 門坂	愛媛 石川 鴻太郎	新潟 福永 正經	熊本 豐 島 猛
楊龍 四郎	東京		
第二學年 (二十四名)			
小澤 德太郎	山形 水鳥 欽一	關西 佐藤 武雄	秋田 熊谷 四郎
			千葉

生徒(探礦學科)

樋口篤	大橋重郎	山形	柿崎源三郎	青森	小河彰	兵庫
上田治作	兒玉政一	山口	大久保義一	大分	千葉忠一郎	鹿手
小林寅吉	八尋男藏	福岡	石川利雄	茨城	小橋平	福島
寺澤吉郎	菅澤巖	千葉	富田治	大阪	溝口十郎	佐賀
鈴木正雄	坂本俊正	鳥取	萩原慶一	京都	坂田茂男	熊本
第一學年 (二十名)						
齋藤孝治	稻葉久美	京都	前田三郎	石川	木村醇造	長崎
佐川新一郎	鹿江善太郎	福井	宇須井昇	茨城	南尙義	富山
長島正一	山口弘道	秋田	松島正平	靜岡	小林和夫	新潟
馬松島	坪内義之	岐阜	泉田文藏	福島	田村憲太郎	秋田
立花昇	西山未人	福島	竹内喜助	福島	坂本喜三郎	秋田
選修生 (十一名)						
佐々木朔郎	渡部彦	秋田	安保賢助	秋田	小笠原忠藏	秋田
高炎灶	劉誠	支那	張祖陸	支那	博振遠	支那
程鴻志	李禹忱	支那	齊憲舜	支那		

第八 卒業生及修業生 ×印死亡

一、大正三年三月二十日卒業第一回卒業生

探礦學科 (本科二十四名)

就職所	出身地方	出身學校	氏名
朝鮮總督府拓殖部鐵務課	秋田	秋田縣立秋田中學校	岩屋信榮
金生鐵山	秋田	秋田縣立秋田中學校	五十嵐金藏
土深井鐵山	秋田	秋田縣立秋田中學校	細谷清治
尾小屋鐵山 <small>(合名會社)</small>	秋田	秋田縣立大館中學校	渡邊準二
夕張炭礦 <small>(北海道炭礦)</small>	青森	青森縣立八戸中學校	川村鐵治
岩屋鐵山 <small>(高田鐵業)</small>	秋田	秋田縣立秋田中學校	川口寅之助
廣尾鐵山 <small>(高田鐵業)</small>	秋田	秋田縣立秋田中學校	征原秀世
夕張炭礦 <small>(北海道炭礦)</small>	秋田	秋田縣立秋田中學校	神尾不二太郎
久原鐵業株式會社監理課	秋田	秋田縣立秋田中學校	横山英三
高田鐵業 <small>(明治鐵業)</small>	栃木	栃木縣立真岡中學校	田中鐵三郎
中外商工株式會社	栃木	栃木縣立栃木中學校	元田山口清作
家 居	山形	山形縣立山形中學校	武田市吉

卒業生及修業生

岩谷澤鐵山(合名會社)
横山鐵業部
朝鮮安川金山(明治鐵業)
合資會社

不明

幾春別炭鐵(北海道炭鐵汽)
船株式會社

空知炭鐵(北海道炭鐵汽)
船株式會社

高越鐵山(高田鐵業)
株式會社

新津出張所(日本石油)
株式會社

萬田炭鐵(三井鐵山)
株式會社

花岡鐵山(藤田鐵業)
株式會社

久根鐵山(河合鐵業)
株式會社

佐賀關製鍊所(久原鐵業)
株式會社

大阪亞鉛製鍊所(久原鐵業)
株式會社

栃木	栃木縣立栃木中學校	曾根勝壽
長崎	福岡縣立中學修猷館	奈根原健介
廣島	廣島縣立忠海中學校	元浦島戶敏
群馬	群馬縣立高崎中學校	前田政五郎
靜岡	靜岡縣立掛川中學校	元藤本淺野辛一郎
秋田	秋田縣立本莊中學校	古瀬惟彦
山形	山形縣立新莊中學校	荒木良二
秋田	秋田縣立秋田中學校	吉川金藏
新潟	新潟縣私立有恒學舍	宮下藤吉
秋田	秋田縣立秋田中學校	人見勇氣
秋田	秋田縣立秋田中學校	諸井信明
福岡	群馬縣立高崎中學校	杉原蕃一
秋田	秋田縣立秋田中學校	石澤繁三郎
三重	三重縣立工業學校	殿村繁三郎
茨城	茨城縣立水戸中學校	元大内中島全四郎

冶金學科 (本科十五名)

就職所

出身地方

出身學校

氏名

二、大正四年三月十五日卒業(第二回卒業生)

採鑛學科 (本科二十四名)

就職所

出身地方

出身學校

氏名

青森	青森縣立八月中學校	川村 僚二
秋田	秋田縣立秋田中學校	柏木已間之助
秋田	秋田縣立秋田中學校	田畑 農夫
東京	私立早稻田中學校	半井 茂明
秋田	秋田縣立秋田中學校	黒羽 秀男
秋田	秋田縣立大館中學校	窪谷 雅一
秋田	秋田縣立秋田中學校	八代 一郎
岡山	岡山縣立津山中學校	有木 次男
秋田	秋田縣立秋田中學校	赤堀 茂治
岡山	岡山縣立高梁中學校	笹田直二郎
秋田	秋田縣立秋田中學校	三神 正苗
靜岡	靜岡縣立靜岡中學校	菅沼 清

卒業生及修業生

卒業生又修業生

尾去澤鐵山 (三菱鐵業株式會社)	青森	青森縣立弘前東興養塾	岩瀨	成一
大谷鐵業所 (日支炭鐵株式會社)	靜岡	靜岡縣郡立榛原中學校	今羽	俊一
臺灣花蓮港坑場 (藤田鐵業株式會社)	石川	石川縣立小松中學校	二羽	英一
赤柴鐵業所	東京	東京府立第一中學校	富倉	好吉
大瀨鐵山 (久原鐵業株式會社)	群馬	東京府立曉星中學校	小野	午二
鎌田鐵場 (室田石油株式會社)	茨城	秋田縣立秋田中學校	淀川	太二
仙臺鐵務署	茨城	茨城縣立太田中學校	柳井	達
橫峯鐵山 (三菱鐵業株式會社)	秋田	秋田縣立橫手中學校	武石	得郎
田川炭鐵 (三井鐵山株式會社)	秋田	秋田縣立秋田中學校	辻左	武郎
高田鐵業株式會社本社	岩手	岩手縣立盛岡中學校	難波	憲一
製鐵所二瀬出張所	福岡	秋田縣立秋田中學校	清水	瑞天
尾去澤鐵山 (三菱鐵業株式會社)	秋田	福岡縣立東筑中學校	上野	利三
日立鐵山 (久原鐵業株式會社)	山形	秋田縣立大館中學校	松村	周輔
久原鐵業株式會社監理課	山形	山形縣立山形中學校	小磯	五郎
製鐵所二瀬出張所	茨城	東京府立芝中學校	駒井	貢
大夕張炭坑 (三菱鐵業株式會社)	靜岡	靜岡縣立濱松中學校	榎谷	謙一
	茨城	茨城縣立水戸中學校	海老澤	盛左

夕張炭鐵
(北海道炭鐵株式會社)

高田鐵山
(高田鐵業株式會社)

楓炭鐵

大倉鐵業株式會社

不明

秋田	秋田縣立秋田中學校	安部	宗喜
秋田	秋田縣立秋田中學校	境田	三郎
秋田	秋田縣立秋田中學校	元佐々木	關根
秋田	秋田縣立秋田中學校	女池	賢助
秋田	秋田縣立秋田中學校	羅爲	巴
秋田	東京府立明治學院	羅爲	巴

兼二浦製鐵所
(三菱製鐵株式會社)

高田鐵山
(高田鐵業株式會社)

大阪砲兵工廠

小坂鐵山
(藤川鐵業株式會社)

農商務省鐵山局

株式會社日本製鋼所

家居

卒業生及修業生

出身地方

出身學校

出身地方

出身學校

秋田

岩手縣立遠野中學校

茨城

茨城縣立水戸中學校

東京

長野縣立飯田中學校

茨城

茨城縣立土浦中學校

山形

山形縣立新庄中學校

秋田

秋田縣立秋田中學校

北海道

北海道縣立札幌中學校

青森

青森縣立弘前東興養塾

山形

山形縣立新庄中學校

氏名

小山田

純一

狩谷

次郎

吉田

環

立川

博愛

中野

豐秀

村井

逸治

大河原

三郎

山田

實

寒河江

信

卒業生及修業生

農商務省鑛山局
雲南省會工業學校

秋田 秋田縣立秋田中學校 × 三浦竹之助
茨城 茨城縣立太田中學校 鈴木利壽
支那 私立志成學校 鄒世俊

三、大正五年三月十五日卒業第三回卒業生

採鑛學科 (本科十九名)

就 職 所	出身地方	出身學校	氏 名
高田鑛山(高田鑛業株式會社)	秋田	秋田縣立秋田中學校	伊藤安太郎
原商事株式會社	青森	秋田縣立秋田中學校	× 二本柳清
三池炭礦(三井鑛山株式會社)	山形	山形縣立新庄中學校	大島探道
八壜鑛山	秋田	秋田縣立秋田中學校	大島鶴治
秋田縣立秋田中學校	青森	北海道廳立函館中學校	立花 堯
上山田炭礦(三菱鑛業株式會社)	山形	秋田縣立秋田中學校	永井三郎
高田鑛業株式會社本社	三重	山形縣立莊内中學校	土屋良三
豆田炭礦	福岡	東京私立京北中學校	長島房之助
木友炭礦	宮城	福岡縣立嘉穗中學校	久保源吉
		宮城縣立第二中學校	山内東馬

就 職 所	出身地方	出身學校	氏 名
高越鑛山(高田鑛業株式會社)	秋田	秋田縣立秋田中學校	山本和一郎
日立鑛山(久原鑛業株式會社)	神奈川	神奈川縣立第二中學校	眞壁三郎
夕張炭礦(北海道炭礦汽船株式會社)	北海道	北海道廳立小樽中學校	小林定信
福岡鑛務署	石川	石川縣立七尾中學校	安達 豐作
家 居	福岡	私立中學都文館	安齊 徹
日置鑛業所	岩手	秋田縣立横手中學校	佐藤 佐次郎
尾小屋鑛山(合名會社)	石川	石川縣立金澤第二中學校	宮地 惟彦
日立鑛山(久原鑛業株式會社)	秋田	秋田縣立秋田中學校	森澤 源太郎
家 居	福岡	福岡縣立福島中學校	森 深造

冶金學科 (本科十三人)

就 職 所	出身地方	出身學校	氏 名
日立鑛山(久原鑛業株式會社)	茨城	茨城縣立太田中學校	元稻川 小 又 壽
三菱第二浦製鐵所	茨城	茨城縣立太田中學校	石川 英太郎
八壜鑛山	山口	長崎縣立五島中學校	畑田 萬三郎
大阪製鍊所(三菱鑛業株式會社)	福岡	秋田縣立秋田中學校	上島 磐男
農商務省特許局	東京	東京府立第四中學校	田中 清三郎
家 居	秋田	秋田縣立横手中學校	井上 周治

卒業生及修業生

八幡製鐵所
株式會社常盤商賣合金製作所
西又鑛山(田中鑛業株式會社)
神岡鑛山(三井鑛業株式會社)
家居
吳海軍工廠
家居

秋田 秋田縣立秋田中學校 小池勝安
秋田 秋田縣立秋田中學校 小堀克己
福島 福島縣私立石川中學校 近藤佐四郎
山形 山形縣立米澤中學校 佐藤捨雄
長野 長野縣立飯田中學校 北原五郎
香川 香川縣立三豐中學校 木田龜雄
秋田 秋田縣立秋田中學校 三津殿太郎

四、大正六年三月十五日卒業(第四回卒業生)

採鑛學科 (本科十六名)

就職所	出身地方	出身學校	氏名
夕張炭礦(北海道炭礦汽船株式會社)	高知	高知縣立第二中學校	石本長谷治
日立鑛山(久原鑛業株式會社)	秋田	秋田縣立秋田工業學校	西宮惠藏
札幌鑛務署	山形	山形縣立山形中學校	奥山榮吉
札幌工業學校	山形	秋田縣立秋田中學校	若松彌之助
支那安徽省荻港鎮桃沖鑛山	青森	山形縣立工業學校	鶴田政義
仙臺鑛務署	青森	靜岡縣立靜岡中學校	東原政義

冶金學科 (本科四名)

就職所	出身地方	出身學校	氏名
桂根鑛場(日本石油株式會社)	新潟	新潟縣立高岡中學校	山田嘉永治
第二沖之山炭礦	山口	山口縣立工業學校	松尾一治
神岡鑛山(三井鑛業株式會社)	岐阜	岐阜縣立岐阜中學校	寺井圓治
大夕張炭礦(三菱鑛業株式會社)	秋田	秋田縣立本莊中學校	小野峰次
本校	鹿兒島	東京府立第二中學校	朝倉景正
小坂鑛山(藤田鑛業株式會社)	秋田	秋田縣立大館中學校	齋藤忠助
西山出張所(寶田石油株式會社)	秋田	秋田縣立本莊中學校	佐藤壽一
不	和歌山	和歌山縣立田邊中學校	三川正信
農商務省鑛山局	支那	支那江蘇省立第五中學校	謝川正堅
東京	東京	東京私立高輪中學校	推橋一正
就職所	出身地方	出身學校	氏名
本	千葉	千葉縣立安房中學校	川崎浦次
京城工業專門學校	福島	宮城縣立仙臺第二中學校	中村秀次
足尾銅山(合名會社古河鑛業株式會社)	埼玉	埼玉縣立柏壁中學校	小島芳郎
足尾銅山(合名會社古河鑛業株式會社)	秋田	秋田縣立本莊中學校	下村有一

卒業生及修業生

卒業生及修業生

五、大正七年三月十六日卒業第五回卒業生

採鑛學科 (本科拾四名)

就職所	出身地方	出身學校	氏名
入營中	岩手	岩手縣立盛岡中學校	一條兵司
與板油業所 (久原鑛業株式會社)	新潟	新潟縣立村上中學校	稻垣源太郎
好間炭礦 (合名會社古河鑛業會社)	秋田	秋田縣立秋田中學校	石川龍夫
家	岩手	岩手縣立福岡中學校	千葉幸八
西山出張所 (日本石油株式會社)	秋田	秋田縣立本莊中學校	加藤喜作
夕張炭礦 (北海道炭礦株式會社)	茨城	茨城縣立太田中學校	中久木茂
寶鑛山 (三菱鑛業株式會社)	岐阜	岐阜縣立大垣中學校	中島四郎
大夕張炭礦 (三菱鑛業株式會社)	福井	岐阜縣立妻太中學校	松浦啓治
入營中	大分	私立商工中學校	五郎榮幸
足尾銅山 (合名會社古河鑛業會社)	岩手	岩手縣立盛岡中學校	照井武雄
仙臺鑛務署	秋田	秋田縣立秋田工業學校	齋藤繁太郎
西山出張所 (寶田石油株式會社)	東京	秋田縣立柏崎中學校	佐々木菊夫
	東京	新潟縣立柏崎中學校	瀨島信二

東北帝大理學部地質學教室

冶金學科 (本科九名)

就職所	出身地方	出身學校	氏名
家	秋田	山形縣立工業學校	堀田兵助
日置鑛業所	三重	三重縣立工業學校	富田俊藏
小坂鑛山 (藤田鑛業株式會社)	東京	私立同志社普通學校	大野萬次郎
家	東京	私立立教中學校	桂島盛一
大阪鑛務署	神奈川	神奈川縣立厚木中學校	小島英勝
三池製煉所 (三井鑛山株式會社)	秋田	秋田縣立秋田中學校	× 胸木根哲郎
家	茨城	北海道廳立函館中學校	× 齋藤恂一
家	東京	茨城縣立水戸中學校	× 佐藤淺太郎
	東京	私立京北中學校	新保與宗一

六、大正八年三月二十一日卒業第六回卒業生

採鑛學科 (本科貳拾五名)

就職所	出身地方	出身學校	氏名
仙臺鑛務署	岩手	長崎縣立長崎中學校	岩谷堅次郎

卒業生及修業生

日立鐵山	(久原鐵業株式會社)	栃木	栃木縣立太田原中學校	磯貞治
大阪鐵務署		秋田	秋田縣立秋田中學校	石田重吉
小坂鐵山	(藤田鐵業株式會社)	秋田	秋田縣立本莊中學校	本田隆治
湯本鐵業所	(大日本炭礦株式會社)	茨城	茨城縣立水戸中學校	大津大次郎
東山鐵山	(久原鐵業株式會社)	岩手	岩手縣立一ノ關中學校	小野寺次男
南滿洲撫順炭礦龍風坑		秋田	秋田縣立秋田中學校	渡邊三郎
東京鐵務署		秋田	秋田縣立秋田中學校	渡部好太郎
新津出張所	(寶田石油株式會社)	新潟	私立東京中學校	波邊申平
尼尾鐵山	(古河鐵業株式會社)	青森	秋田縣立秋田中學校	波邊四郎
撫順炭坑東郷探炭所	(南滿洲鐵道株式會社)	三重	三重縣立第二中學校	神谷親義
入營中		福井	福井縣立福井中學校	高橋正
東北帝大理學部地質學教室		香川	香川縣立丸龜中學校	多田義員
夕張炭礦	(北海道炭礦汽船株式會社)	福島	福島縣立福島中學校	常松一
魚沼鐵山	(日本石油株式會社)	長野	長野縣立松本中學校	中澤典十郎
入營中		島取	島取縣立島取中學校	山田真藏
別子鐵山	(住友)	秋田	秋田縣立大館中學校	松岡貞藏
石岡炭礦	(茨城無煙炭株式會社)	茨城	千葉縣立千葉中學校	藤田安之丞

冶金學科

(本科拾壹名)

鈴木商會		香川	私立郁文館中學校	赤木弘親
來馬鐵山	(住友)	秋田	秋田縣立秋田中學校	佐野來太郎
美唄炭礦	(三菱鐵業株式會社)	福島	福島縣立會津中學校	紀國靜
日三市鐵山	(三菱鐵業株式會社)	埼玉	埼玉縣立川越中學校	清水磯太郎
登川炭礦	(三井鐵山株式會社)	秋田	秋田縣立秋田中學校	人見信
溜川炭礦	(青島守備軍民政部)	東京	東京府立第二中學校	土方喜四郎
入營中		愛知	愛知縣立第四中學校	鈴木誠之
就職所		出身地方	出身學校	氏名
小坂鐵山	(藤田鐵業株式會社)	茨城	私立東京中學校	土信田彦之丞
大阪鐵務署		秋田	秋田縣立秋田中學校	大貫文治
大阪伸銅所	(住友)	石川	私立正則中學校	吉田幸吉
入營中		福島	福島縣立相馬中學校	中川誠五郎
入營中		茨城	茨城縣立土浦中學校	野口茂正
製鐵所		青森	青森縣立弘前中學校	工藤衛
荒川鐵山	(三菱鐵業株式會社)	秋田	秋田縣立秋田中學校	八代美根三
東京砲兵工廠		青森	青森縣立八戸中學校	船越浪雄

卒業生及修業生

足尾 鑛山(古河鑛業會社)
東東砲兵工廠
岩鼻火藥製造所

新潟 新潟縣立新潟中學校
山形 山形縣立米澤中學校
福島 福島縣立相馬中學校

九〇
佐藤 俊次
北目 繁次
鳥勝 彌

七、大正八年七月一日卒業

札幌工業學校

山形 山形縣立工業學校

横戸 穂重

八、大正九年三月二十二日卒業(第七回卒業生)

就職所

美川 鑛山(三菱鑛業株式會社)
沼川 鑛山(三菱鑛業株式會社)
横峯 鑛山(三菱鑛業株式會社)
家 居
川上 鑛業所(三井鑛山株式會社)
家 居
家 居
大日本石油鑛業株式會社
金嶺 鑛山(古河鑛業株式會社)
好間 鑛山(古河鑛業株式會社)
岡井田 鑛場(帝國石油株式會社)
旭炭礦若松出張所(井上鑛業株式會社)
高田 鑛山(高田鑛業株式會社)
菅平田 鑛山(名合會社)
田川 鑛山(三井鑛山株式會社)
内郷 鑛山(磐城鑛山株式會社)
夕張 鑛山(船橋鑛山株式會社)
三池 鑛山(三井鑛山株式會社)
夕張 鑛山(北海鑛業株式會社)
岩屋 鑛山(高田鑛業株式會社)
内郷 鑛山(磐城鑛山株式會社)

採鑛學科 (本科三十五名)

和歌山 和歌山縣立和歌山中學校
福島 福島縣立會津中學校
愛知 愛知縣立第五中學校
富山 富山縣立富山中學校
青森 青森縣立青森中學校
宮城 宮城縣立白石中學校
山形 山形縣立秋田中學校
山形 山形縣立橫須賀中學校
富山 富山縣立礪波中學校
山形 宮城縣立仙臺第二中學校
秋田 秋田縣立秋田中學校
秋田 秋田縣立秋田中學校
秋田 秋田縣立大館中學校
秋田 秋田縣立中津中學校
大分 大分縣立中津中學校
秋田 秋田縣立豐岡中學校
兵庫 兵庫縣立豐岡中學校
愛知 愛知縣立第二中學校
群馬 群馬縣立高崎中學校
茨城 茨城縣立太田中學校
靜岡 靜岡縣立靜岡中學校
廣島 廣島縣立吳中學校
岩手 岩手縣立盛岡中學校
東京 廣島高等師範附屬中學校
東京 私立芝中學校

出身地方

兵庫 兵庫縣立豐岡中學校
林 林縣立中學校
原 原縣立中學校
石 石縣立中學校
今 今縣立中學校
岩 岩縣立中學校
宮 宮城縣立白石中學校
青 青森縣立青森中學校
富 富山縣立富山中學校
愛 愛知縣立第五中學校
福 福島縣立會津中學校
和 和歌山縣立和歌山中學校

出身學校

兵庫 兵庫縣立豐岡中學校
林 林縣立中學校
原 原縣立中學校
石 石縣立中學校
今 今縣立中學校
岩 岩縣立中學校
宮 宮城縣立白石中學校
青 青森縣立青森中學校
富 富山縣立富山中學校
愛 愛知縣立第五中學校
福 福島縣立會津中學校
和 和歌山縣立和歌山中學校

卒業生及修業生

荒川 鑛山(三菱鑛業株式會社)
奔別 鑛山(三井鑛業株式會社)
大日本石油鑛業株式會社
金嶺 鑛山(古河鑛業株式會社)
好間 鑛山(古河鑛業株式會社)
岡井田 鑛場(帝國石油株式會社)
旭炭礦若松出張所(井上鑛業株式會社)
高田 鑛山(高田鑛業株式會社)
菅平田 鑛山(名合會社)
田川 鑛山(三井鑛山株式會社)
内郷 鑛山(磐城鑛山株式會社)
夕張 鑛山(船橋鑛山株式會社)
三池 鑛山(三井鑛山株式會社)
夕張 鑛山(北海鑛業株式會社)
岩屋 鑛山(高田鑛業株式會社)
内郷 鑛山(磐城鑛山株式會社)

秋田 秋田縣立秋田中學校
秋田 秋田縣立秋田中學校
富山 富山縣立礪波中學校
山形 宮城縣立仙臺第二中學校
山形 山形縣立秋田中學校
山形 山形縣立橫須賀中學校
富山 富山縣立富山中學校
青森 青森縣立青森中學校
宮城 宮城縣立白石中學校
山形 山形縣立秋田中學校
山形 山形縣立橫須賀中學校
富山 富山縣立礪波中學校
山形 宮城縣立仙臺第二中學校
秋田 秋田縣立秋田中學校
秋田 秋田縣立秋田中學校
秋田 秋田縣立大館中學校
秋田 秋田縣立中津中學校
大分 大分縣立中津中學校
秋田 秋田縣立豐岡中學校
兵庫 兵庫縣立豐岡中學校
愛知 愛知縣立第二中學校
群馬 群馬縣立高崎中學校
茨城 茨城縣立太田中學校
靜岡 靜岡縣立靜岡中學校
廣島 廣島縣立吳中學校
岩手 岩手縣立盛岡中學校
東京 廣島高等師範附屬中學校
東京 私立芝中學校

戶島 通幸
小川 榮太郎
岡崎 正治
奧村 清治
渡邊 市郎
渡邊 代藏
加藤 廣雄
陰山 球磨二
都築 榮四郎
上原 四郎
井坂 司農夫
桑原 貞造
松田 忠
藤澤 武雄
伏谷 精一
小島 義彦

卒業生及修業生

家 居	三池炭礦(三井鐵山株式會社)	山形	福島縣立福島中學校	今 久次郎
秋田鐵場(大日本石油株式會社)	山形	山形縣立莊内中學校	阿 部 廣道	
家 居	日立鐵山(久原鐵業株式會社)	秋田	荒 谷 孝助	
文 珠 炭 礦(田中鐵山株式會社)	北海道	秋田縣立秋田中學校	荒 澤 文治郎	
歌志內炭礦(山下鐵業株式會社)	秋田	岩手縣立盛岡中學校	齋 藤 利三郎	
坂 炭 礦(坂炭礦株式會社)	兵 庫	秋田縣立秋田中學校	齋 藤 保 郎	
東 山 鐵 場(日本石油株式會社)	愛 媛	秋田縣立秋田中學校	猿 谷 小次郎	
入 營 中	栃 木	兵庫縣立豐岡中學校	佐々村源太郎	
砂川炭礦(三井鐵山株式會社)	茨 城	長崎縣立中學猶興館	北 野 收 好	
撫順炭礦(南滿洲鐵道株式會社)	靜 岡	私立下野中學校	篠 原 豐 四郎	
就 職 所	出身地方	茨城縣立太田中學校	鈴 木 七 之 助	
淺野製鋼株式會社	福 岡	靜岡縣立靜岡中學校	鈴 木 靜 夫	
吳海軍工廠	千 葉	青森縣立青森中學校	元小川 瀧 川 政次郎	
家 居	北 海 道	千葉縣立安房中學校	若 林 昌 之	
冶金學科 (本科十六名)	出身學校	福岡縣立小倉中學校	大 門 嘉 一 郎	

東京砲兵工廠	愛 媛	愛媛縣立松山中學校	田 中 太 郎
四坂島製煉所(住友)	福 岡	福岡縣立東筑中學校	永 瀨 源 潔
造 幣 局	栃 木	栃木縣立真岡中學校	村 上 順 四郎
海軍造兵廠	東 京	私立青山中學校	村 井 權 郎
入 營 中	東 京	埼玉縣立川越中學校	宇 野 幸 男
小坂鐵山(藤田鐵業株式會社)	茨 城	茨城縣立太田中學校	草 野 正 道
朝鮮總督府鐵務課	朝 鮮	平壤高等普通學校	郭 允 謙
別子鐵業所(住友)	茨 城	茨城縣立太田中學校	小 林 卓 明
家 居	山 梨	山梨縣立日川中學校	吾 妻 久 重
入 營 中	東 京	私立日本濟美學校	朝 倉 一 郎
尾小屋鐵山(合名會社)	石 川	石川縣立金澤第二中學校	佐 藤 爲 助
吳海軍工廠	秋 田	秋田縣立秋田中學校	庄 司 顯 太郎
日光電氣精銅所(古河鐵業會社)	秋 田	秋田縣立秋田中學校	江 藤 廉 平

九、大正九年五月一日卒業

十、本科修業生(いろは順)(大正八年三月二十五日)(校則第三十四條ニヨル)

卒業生及修業生

卒業生及修業生
 劍路木村組炭礦 香川 香川縣立高松中學校 九四
 家 居 岡山 私立日本中學校 河野富三郎
 莊田正和

十一、選科修業生

大正三年冶金選科修業生 (三名)

就職所 出身地方 出身學校 氏名

日立鐵山(久原鐵業株式會社) 秋田 小坂鐵山設立獎學會 上野德藏

尼ヶ崎工場(大阪強鉛鐵業株式會社) 岩手 岩手縣立盛岡中學校 宮部武雄

大森鐵山(藤山鐵業株式會社) 島根 島根縣立濱田中學校 須田英吉

龜山礦業所 長野 東京私立工手學校 (二名) 湯澤直四郎

佐渡鐵山(三菱鐵業株式會社) 新潟 新縣立相川中學校 平井榮一

日立鐵山(久原鐵業株式會社) 茨城 茨城縣立太田中學校 (一名) 川崎健

三菱鐵業株式會社京城出張所 北海道 私立京華中學校 (五名) 池田康治

藏王硫黃鐵山 秋田 私立工手學校 內田廉治

石城鐵山(宇都宮鐵業所) 福島 私立工手學校 北村方雄

支那湖北官鐵公署 支那 私立工手學校 曾魯光

不 明 支那 私立成城中學校 蔡熙

小坂鐵山(藤山鐵業株式會社) 秋田 正則豫備學寮 五日市芳彌

尼崎工場(合名會社古河鐵業會社) 青森 私立工手學校 河野善次郎

來馬鐵山(住友) 岩手 私立東京工業學校 (四名) 藤澤二郎

家 居 山形 山形縣立置賜農學校 佐藤謙三

高千鐵山(三菱鐵業株式會社) 新潟 高等小學校 菊地仁吉

久根鐵山(合名會社古河鐵業會社) 秋田 長崎縣立長崎中學校 菅原朋一

大正七年冶金選科修業生 (三名)

東京電氣工業株式會社大森工場 岡山 私立工手學校 ×仁後嘉四郎

永松鐵山(合名會社古河鐵業會社) 秋田 秋田縣立秋田中學校 川上覺治

日立鐵山(久原鐵業株式會社) 長崎 私立工手學校 菊地圭治

卒業生及修業生 九五

卒業生及修業生

家 居 東 京 私立錦城中學校
 京都帝大探鑛冶金科助手 岩手縣立工業學校
 大正八年冶金選科修業生 (三名)
 土肥鑛山 秋 田 秋田縣立秋田工業學校
 入 營 中 秋 田 秋田縣立秋田中學校
 內 郷 炭 鑛(磐城炭鑛株式會社) 福 島 福島縣立相馬中學校
 大正九年修業生(選修生) (十八名)
 內 郷 炭 鑛(磐城炭鑛株式會社) 福 島 福島縣立中學明善校
 宮 本 炭 鑛(大日本石油株式會社) 長 野 長野縣立大町中學校
 西 又 炭 鑛(田中鐵業株式會社) 長 野 私立工手學校
 三 池 炭 鑛(三井鐵山株式會社) 福 岡 福岡縣立中學傳習館
 長 面 炭 鑛(帝國石油株式會社) 秋 田 秋田縣立秋田工業學校
 新 夕 張(北海道炭鑛汽船株式會社) 秋 田 秋田縣立橫手中學校
 大 峰 炭 鑛(北海道炭鑛汽船株式會社) 岩 手 私立京北中學校
 家 居 群 馬 秋田縣立秋田中學校
 幾 春 外 炭 鑛(北海道炭鑛汽船株式會社) 靜 岡 私立東京工科學校
 私立工手學校

九六

千代田鑛業所(茨城探炭株式會社) 茨 城 茨城縣立太田中學校
 足 尾 銅 山(古河合名會社) 福 島 福島縣立相馬中學校
 福島炭鑛株式會社 福 島 福島縣立磐城中學校
 東京砲兵工廠 北 海 道 北海道廳立旭川中學校
 家 居 青 森 青森縣立第二中學校
 高田鑛業株式會社 鹿 兒 島 鹿兒島縣立加治木中學校
 小 口 礦 場(寶田石油株式會社) 秋 田 秋田縣立秋田工業學校
 奔 別 炭 鑛(山下鐵業株式會社) 愛 媛 愛媛縣立松山中學校

茅 根 正 夫
 山 崎 景 廣
 山 崎 俊 男
 前 田 藤 市
 青 井 米 藏
 朝 隈 初 丸
 關 田 彌 助
 隅 田 榮 藏

第九 卒業生就職先累計

就職官公署又ハ會社名	採 鑛	冶 金	計	就職官公署又ハ會社名	採 鑛	冶 金	計
本 校	一	一	二	農商務省特許局	一	一	二
朝鮮總督府	一	二	三	東 京 鐵 務 署	一	二	三
農商務省鑛山局	一	二	三	大 阪 鐵 務 署	一	二	三

卒業生就職先累計

九七

卒業生就職先累計

仙臺鐵務署	四	住友總本店	二
福岡鐵務署	一	藤田鐵業株式會社	四
製鐵所	二	大倉鐵業株式會社	一
東京砲兵工廠	一	古河鐵業株式會社	五
海軍造兵廠	二	久原鐵業株式會社	一
吳海軍工廠	二	株式會社日本製鋼所	三
造幣局	一	明治鐵業合資會社	一
青島守備軍民政部	三	貝島合名會社	一
東北帝國大學工學部	一	日本石油株式會社	五
南滿洲鐵道株式會社	三	寶田石油株式會社	四
三井鐵山株式會社	一	日支炭礦汽船株式會社	一
三菱鐵業株式會社	一	田中鐵業株式會社	一
三菱製鐵株式會社	三	茨城無煙炭礦株式會社	一

卒業生就職先累計

北海道炭礦汽船株式會社	一	大日本炭礦株式會社	一
合名會社橫山鐵業部	三	中外商工株式會社	一
高田鐵業株式會社	一〇	大阪亞鉛製煉所	一
明治製煉株式會社	一	原商事株式會社	一
淺野製鋼株式會社	一	株式會社常磐商會	一
大日本石油鐵業株式會社	二	岩鼻火藥製造所	一
山下鐵業株式會社	二	豆田炭礦	一
帝國石油株式會社	一	小又鐵山	一
井上鐵業合資會社	一	赤柴鐵業所	一
田中鐵山株式會社	一	土深井鐵山	一
磐城炭坑株式會社	二	日置鐵業所	二
坂炭礦株式會社	一	木友鐵山	一
鈴木商會	一	第二沖之山炭礦	一

入學志願者及入學者府縣別人員

府縣別	大正七年度	大正八年度	大正九年度
神奈川縣	五	三	一
兵庫縣	六	七	一
新潟縣	八	七	九
埼玉縣	二	六	二
群馬縣	六	五	三
千葉縣	九	六	二
茨城縣	九	一六	六
栃木縣	九	一〇	六
奈良縣	一	一	三
三重縣	一	二	二
愛知縣	五	八	二
靜岡縣	七	二	三
山梨縣	一	一	一
滋賀縣	一	一	一
岐阜縣	四	三	三

第十二 入學志願者及入學者府縣別人員

府縣別	大正七年度	大正八年度	大正九年度
北海道廳	六	五	一
東京府	二	九	四
京都府	二	三	一
大阪府	三	三	二
計	三〇	二〇	三三
支那	一	七	三
朝鮮	一	一	二
臺灣	一	一	一
沖繩縣	一	一	一
鹿兒島縣	二	一	四

入學志願者及入學者府縣別人員

入學志願者及入學者府縣別人員

和歌山縣	德島縣	香川縣	愛媛縣	高知縣	福岡縣	大分縣	長崎縣	佐賀縣	熊本縣	鹿兒島縣	沖繩縣	臺灣	朝鮮
1	1	9	8	2	8	3	3	3	3	5	1	1	1
1	1	2	3	1	1	2	1	3	3	5	1	1	1
2	4	5	5	2	15	7	3	6	5	6	1	1	1
3	1	4	1	1	1	2	1	1	2	3	1	1	1
1	1	4	4	1	3	1	3	6	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1

入學志願者及入學者府縣別人員

山口縣	廣島縣	岡山縣	鳥取縣	島根縣	富山縣	石川縣	福井縣	秋田縣	山形縣	青森縣	岩手縣	福島縣	宮城縣	長野縣
9	4	3	4	2	9	5	1	9	3	10	9	3	7	4
3	1	1	1	1	1	1	1	3	3	4	3	4	2	1
7	3	2	6	2	6	2	5	10	25	4	7	25	5	4
1	1	2	1	1	1	1	1	6	3	4	4	7	1	1
1	1	2	1	1	4	1	2	3	8	4	5	2	3	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

支	計	那
	三九	一
	九	一
	三	一
	九	一
	三	一
	九	一
	三	一

第十三 生徒學費概算表

種	年	目	別	第一學年			第二學年			第三學年			計
				費	料	書	費	料	書	費	料	書	
授		業		100,000			100,000			100,000			300,000
教科		書	費	100,000			100,000			100,000			300,000
費實校		習外	費										
費		期	期	100,000			100,000			100,000			300,000
校		友	會										
會		會	費	100,000			100,000			100,000			300,000
同		終	身										
寄		宿	寮										
同		食	費	100,000			100,000			100,000			300,000
計		計		300,000			300,000			300,000			900,000

備考	計	費
一、本表校外實習費ハ年度ニヨリ多少増減アリ	計	100,000
二、寄宿寮食費及雜費ハ夏季休業中ノ八月分ヲ除キ十一月分トシテ計上		100,000
三、食費ハ一日金四拾七錢ツツノ割合ニテ計上		100,000
四、新入學生ニ要スル費用左ノ如シ		1,140,000
校友會入會費		2,000
制服		3,500
制帽		4,500
制履		4,500
製作業		9,000
製作業		4,000
製作業		15,000
製作業		10,000
製作業		13,500
計		1,140,000

敷地建物

第十四 敷地建物

(大正九年十一月現在)

一一〇

敷地	建物	總坪	建築費
一敷	一建	二〇六二坪八八七	一九九・七六四九二
	總坪	三〇一九坪七二〇	
內			
教室事務室及實驗室	煉瓦造二階建	三九壹坪	
	木骨煉瓦造平家建	四坪	
	木造二階建	二九七坪五	
	同平家建	一四六坪	
生徒控所兼雨天體操場	木造平家建	一二八坪六六七	
汽罐室及暖房汽罐室	煉瓦造平家建	四八坪	
小使室及宿直室	木造平家建	二四坪	
原動機室及撰鍊室	木造平家建	一〇九坪一六七	
撰鍊實驗室及寫真室	木造二階建	五六坪三三三	
採鍊實驗室及鑄工場	木造平家建	二一坪	
第二採鍊實驗室及鑄工場	木造平家建	四〇坪	
材料	木造平家建	六〇坪	
蓄電池	木造平家建	九坪	
總計			
			六二四九三〇

敷地	建物	總坪	建築費
一敷	一建	二〇六二坪八八七	一九九・七六四九二
	總坪	三〇一九坪七二〇	
內			
硫磺水素發生室	木造平家建	二坪五	三二八八五〇
藥品倉庫	木造平家建	四坪	三三八八〇〇
金庫	木造平家建	二坪	一六五二八〇
製物圖便	木造平家建	三七坪	一〇一四〇二〇
食物室	木造平家建	九四坪	八・六六五三四〇
冶室	木造平家建	一三坪三	八二五三五〇
送風機	鐵骨煉瓦造平家建	八〇坪	一四・二四四一五〇
浴室	木造平家建	六坪	六四二〇四〇
鑿岩機實驗	木造平家建	一坪六七	三〇〇〇〇
寄宿舍	木造二階建	二二坪	一・二〇〇〇〇〇
生徒集會所	木造平家建	二一九坪	二七・四九五八七〇
	木造平家建	三五坪二五	四・八〇〇〇〇〇
	木造平家建	三坪二五	三〇〇・一四六四七七
總計			
			三〇〇・一四六四七七

第十五 圖書

一、圖書類別表

(大正九年三月三十一日現在)

圖書類別表

一一一

(圖書)圖書類別表

類別	和漢書			洋書		
	冊數	枚數	軸數	冊數	枚數	軸數
第一門 探礦學	二二	七				
第二門 冶金學	二二					
第三門 試金及吹管分析學	一一					
第四門 工藝學	三三					
第五門 地質及礦物學	四三	一九三	一九			
第六門 數理學	六四					
第七門 物理學	一〇三					
第八門 化學	一七〇					
第九門 重學	三〇					
第十門 測量學	二五	一四				
第十一門 土木工學	六六					
第十二門 建築學	四					
第十三門 機械工學	二四九					
第十四門 電氣工學	一〇					
合計	三九四	六六三	三	七	一〇	八
價	四四七五〇	一九二六五〇	五〇八	四六三	二六九七四〇	二九二〇〇〇

二、藏書統計表

(大正九年三月三十一日)

第十五門 一般工學	二二								
第十六門 辭書及叢書	三〇								
第十七門 雜誌	二二								
第十八門 文學及語學	二二								
第十九門 論理、教育、心理學	一〇								
第二十門 宗教及哲學	六五								
第二十一門 法律、政治、商業、經濟、財政、統計及報告	六四								
第二十二門 農業、統計及報告	三九								
第二十三門 地理、歷史及傳記	八								
第二十四門 軍事及衛生學	二								
合計	三九四	六六三	三	七	一〇	八			
價	二二一〇	七二一五六	四七九	三	二九二〇〇〇	二九二〇〇〇			

項目	和漢書			洋書			計		
	冊數	枚數	軸數	冊數	枚數	軸數	冊數	枚數	軸數
買入	三八五	四三三	二八	四五六	一	八	七七〇	四三三	三六
種別									

圖書(藏書統計表)

寄附	保管轉換	生産	計	價格	總價格
100			395	656.55	
110			63	300.80	
5			3	259.90	
131			478	299.94	
3			3	130	
			8	105.00	
150.1			873	105.50	
11			65	101.50	
5			4	31.50	
				3639.95	

第十六 鑛手養成部

秋田鑛山専門學校附屬鑛手養成部規則

- 第一條 鑛手養成部ハ秋田鑛山専門學校ニ附屬シ適良ナル鑛手ヲ養成スルヲ目的トス
- 第二條 生徒員數ハ適宜之ヲ定ム
- 第三條 學科ヲ分チテ探鑛學科及冶金學科トス

第四條 學科課程及每週授業時數ハ別表ノ如シ

第五條 課程ハ四月一日ニ始マリ翌年六月三十日ニ終ル

第一期 自四月一日至八月三十一日

第二期 自九月一日至十二月三十一日

第三期 自一月一日至三月三十一日

第四期 自四月一日至六月三十日

第六條 休日ハ左ノ如シ

- 一、日曜日
- 一、大祭祝日
- 一、秋田鑛山専門學校開校記念日(十月一日)
- 一、春季休暇(自四月一日至四月七日)
- 一、夏季休暇(自八月一日至八月三十一日)
- 一、冬季休暇(自十二月二十五日至一月十日)

鑛手養成部

但シ休暇中ト雖實習又ハ實驗ヲ課スルコトアルヘシ

第七條 入學セシム可キモノハ品行方正ニシテ高等小學校第二學年
修了者又ハ同等以上ノ學力アリト認メタルモノトス
但シ場合ニヨリ入學試験ヲ行フコトアル可シ

第八條 入學セントスルモノハ左ノ書類ヲ本部ニ差シ出ス可シ

一 入學願書(第壹號書式)

二 履歷書(第貳號書式)

三 戶籍抄本

第九條 入學ヲ許可セラレタルモノハ始業當日迄ニ保證人連署ノ上

誓書(第參號書式)ヲ差シ出スヘシ

第十條 生徒ニシテ左ノ各項ノ一ニ該當スルモノハ退學ヲ命ス

- 一、 性行不良ニシテ改善ノ見込ミナキモノ
- 一、 學業不進又ハ疾病ニヨリ成業ノ見込ミナシト認ムルモノ

一、 正當ノ理由ナクシテ引續キ一ヶ月以上缺席セルモノ

一、 授業料ヲ滯納スルモノ

第十一條 生徒ニシテ品行方正成績優良ナルモノハ學年ノ終リニ於
テ證衡ノ上賞與ス

第十二條 生徒ニシテ規則命令及訓育ノ趣旨ニ違背シ其他生徒タル
ノ本分ヲ失シ體面ヲ汚シタルモノハ其情狀ニヨリ處罰ス

第十三條 學科課程修了ハ該學年中平素ノ勤惰及學業ノ成績ヲ考查
シテ之ヲ定ム

第十四條 學科課程ヲ修了シタルモノニハ修業證書ヲ授與ス

第十五條 授業料ハ毎月金貳圓トス

但シ八月分ハ之ヲ徵收セス

第十六條 授業料ハ毎月五日迄ニ納付スヘシ

但シ一月及四月ハ十五日迄トス

(第壹號書式) 用紙半紙但シ本人自筆ニテ墨書

入學願書

本籍地
現住所

族籍、戸主トノ續柄、職業

姓 名 (振假名付)

年月日生

私儀御校附屬鑛手養成部何々學科へ入學志願ニ付御許可相成
度別紙履歷書及戸籍抄本相添へ此段相願候也

年月日

右 何 某Ⓞ

本籍地
現住所

族籍、職業

保證人 何

年月日生 某Ⓞ

秋田鑛山専門學校長何某殿

(第貳號書式) 用紙半紙但シ本人自筆ニテ墨書

履歷書

本籍地
現住所

族籍、職業

何

年月日生 某

學事

一、何年何月何學校入學何年何月卒業

一、何年何月何學校入學何年何月卒業或ハ修業

職業

一、何年何月ヨリ何年何月マデ何職業ニ從事

賞罰

一、何年何月何々ニヨリ何賞又ハ何罰ヲ受ク

右之通り相違無之候也

年月日

右 何 某Ⓞ

(第參號書式) 用紙半紙但シ本人自筆ニテ墨書

收入印紙
參 錢

誓 書

現本籍地
族籍職業

何

年月日 某

私儀今般御校附屬鑛手養成部何々學科へ入學許可相成候ニ就
テハ品行ヲ慎ミ御規則命令等堅ク相守リ可申勿論猥ソニ退學
致ス間敷仍テ此段誓約致候也

右 何

某

秋田鑛山專門學校長何某殿

前書何某在學中其保護監督ヲナスハ勿論本人在學中ニ係ル事
件ハ同人退學致候以後ニ於テモ拙者引受け其責ニ任スヘク仍
テ此段保證致候也

現本籍地

族籍生徒トノ續柄職業

保證人 何

某

年 月 日

學科課程及每週授業時數

選 鑛 學	測 量	機 械 工 學	機 械 製 圖	鑛 物 學、地 質 學	化 學	物 理 學	數 學	英 語	修 身、體 操	採 鑛 學 科				冶 金 學 科					
										第一期	第二期	第三期	第四期	第一期	第二期	第三期	第四期		
一	一	一	三	三	三	三	四	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	一	二	三	二	三	二	四	三	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
三	四	三	二	二	一	二	二	二	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
二	六	二	二	三	一	二	二	二	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
分 析	試 金 術	機 械 工 學	機 械 製 圖	鑛 物 學、地 質 學	化 學	物 理 學	數 學	英 語	修 身、體 操	第一期	第二期	第三期	第四期	第一期	第二期	第三期	第四期	第一期	第二期
一	一	一	三	三	三	三	四	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	一	二	三	二	三	二	四	三	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
四	三	三	二	二	一	二	二	二	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
六	二	二	二	三	一	二	二	二	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二

採鑛學	三	二	三	三	三	三	三
計	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五
治金學							
計							

備考 一、必要ニ應ジ實習ヲ課ス(表中〇ハ採鑛、冶金科共通學科目)
 二、學校長ハ必要ニ應ジ學科目及授業時數ヲ變更スルコトアルベシ

學資概算表(自第一期至第四期)

種目	金額	種目	金額
授業科	二八、〇〇〇	夏季實習費	二〇、〇〇〇
教科書代金	一〇、〇〇〇	雜費	二〇、〇〇〇
筆記帳代金	五、〇〇〇	計	八八、〇〇〇
製圖機械代金	五、〇〇〇		

附 錄

秋田鑛山專門學校校友會規則

第一章 總 則

第一條 本會ハ會員相互ノ親睦ヲ圖リ智徳ヲ磨キ身體ヲ鍊リ以テ本校ノ校風ヲ發揮スルヲ目的トス

第二條 本會ハ秋田鑛山專門學校校友會ト稱シ秋田鑛山專門學校内ニ置ク

第三條 本會ニ左ノ三部ヲ置ク

- 一、學 藝 部
- 二、武 術 部
- 三、運 動 部

第二章 會 員

附 錄 秋田鑛山專門學校々友會規則

第四條 本會ハ左ノ會員ヨリ成ル

- 一、名譽會員 會長ノ推薦ニ係ル者
- 二、特別會員 會長ノ推薦ニ依ル者、本校職員、本校卒業生
- 三、通常會員 本校生徒

第五條 本校職員、卒業生及生徒ハ本會々員タル義務アルモノトス

第三章 役員及役員會

第六條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一、會長 一名 校長ヲ推ス
- 二、副會長 一名 首席教授ヲ推ス
- 三、部長 三名 會長之ヲ職員中ヨリ指名ス
- 四、副部長 四名 會長之ヲ職員中ヨリ指名ス
- 五、委員 若干名 會長之ヲ職員、卒業生及生徒ノ内ヨリ指名ス

六、會計係 一名 會長之ヲ職員中ヨリ指名ス

七、庶務係 一名 會長之ヲ職員中ヨリ指名ス

第七條 本會役員ノ事務分掌ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 一、會長ハ會務ヲ總理ス
- 二、副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス
- 三、部長ハ部務ヲ掌理ス
- 四、副部長ハ部長ヲ補佐シ部長事故アルトキハ之ヲ代理ス
- 五、委員ハ部長ノ指揮ヲ受ケ部務ニ従事ス
- 六、會計係ハ會長ニ屬シ金錢ノ出納及其他本會一般ノ會計事務ニ従事ス
- 七、庶務係ハ會長ニ屬シ本會ノ庶務ニ従事ス

第八條 會長、副會長ヲ除キタル役員ノ任期ハ一ケ年トシ毎年二月

更任スルモノトス

但シ再任ヲ妨ケス

第九條 役員會ハ必要ニ應シ會長之ヲ召集ス但各部ヨリ出席スヘキ代表委員ハ三名宛トス

第十條 役員會ノ議事ハ總テ多數決トス可否同數ナルトキハ會長之ヲ決ス

第四章 會計

第十一條 本會ノ會計年度ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第十二條 本會々員ハ左ノ區分ニ從ヒ會費ヲ釀出スルモノトス

一、本校職員 毎月俸給又ハ手當月額二百分ノ一

二、本校生徒 一ケ年金六圓トシ各學期ノ始メ授業料納付ノ際金貳圓宛分納及入會ノ際金貳圓納付

三、本校卒業生一ケ年金壹圓及並ニ本會維持資金トシテ在學中

每學年每學期ノ始メニ於テ金壹圓宛分納

第十三條 一旦納付シタル會費ハ如何ナル事情アルモ返附セス

第十四條 本會ノ資金ヲ分チテ基本金經常費ノ二トス

基本金ハ卒業生會費寄附金前年度剩餘金ヲ以テ之ニ充テ經常費ハ其ノ他ノ會費及預金利子ヲ以テ之ニ充ツ但シ用途指定寄附金ハ此限リニアラス

第十五條 本會ノ基本金ハ役員會ノ決議ヲ經ルニアラサレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第十六條 本會ノ收入支出豫算ハ毎年三月役員會ヲ開キ其決議ニ依リ會長之ヲ定ム但シ各部長部長事故アルトキハ副部長出席スルニアラサレハ決議スルコトヲ得ス

第十七條 本會ノ資金ハ會長ノ名ヲ以テ確實ナル銀行ニ預入スルモノトス

第十八條 毎年度收入支出決算ハ次年度ニ於テ會員ニ報告スルモノトス

第十九條 會長ハ毎年壹回會員中ヨリ會計審査委員若干名ヲ指名シ本會一切ノ出納及物品ヲ檢閲セシムルモノトス

第五章 雜則

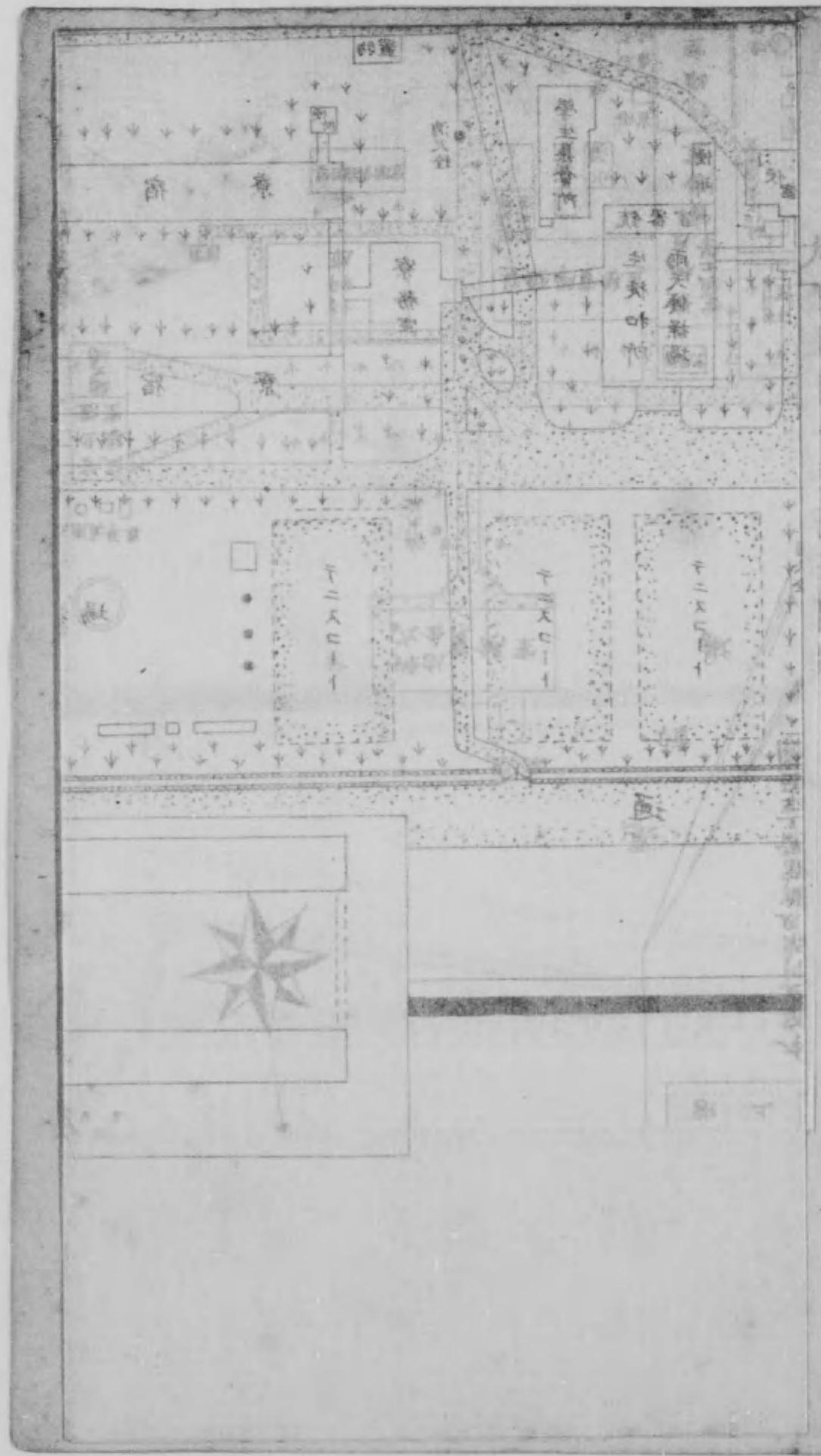
第二十條 本則ハ役員會ノ決議ヲ經ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

第二十一條 本會各部ノ細則ハ部長之ヲ定メ會長ノ認可ヲ受クヘシ但シ他ノ部又ハ係ニ關聯セルモノハ當該部又ハ係ニ合議スヘシ

第二十二條 會員轉居又ハ氏名ヲ改メタルトキハ直ニ本會ニ報告スヘシ

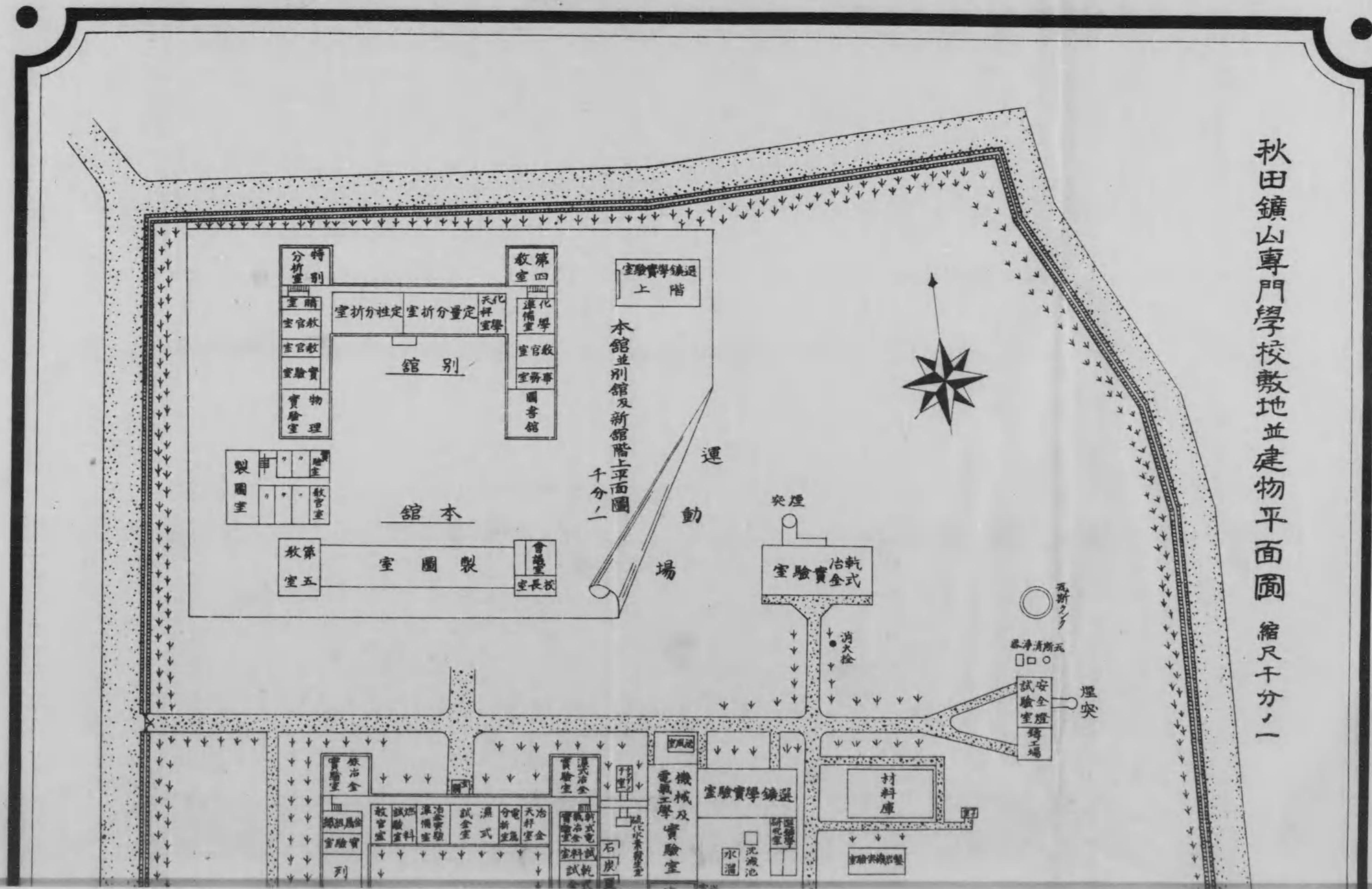
第二十三條 本會ニ功勞アリタルモノニ對シ適當ノ方法ヲ以テ表彰スルコトアルヘシ

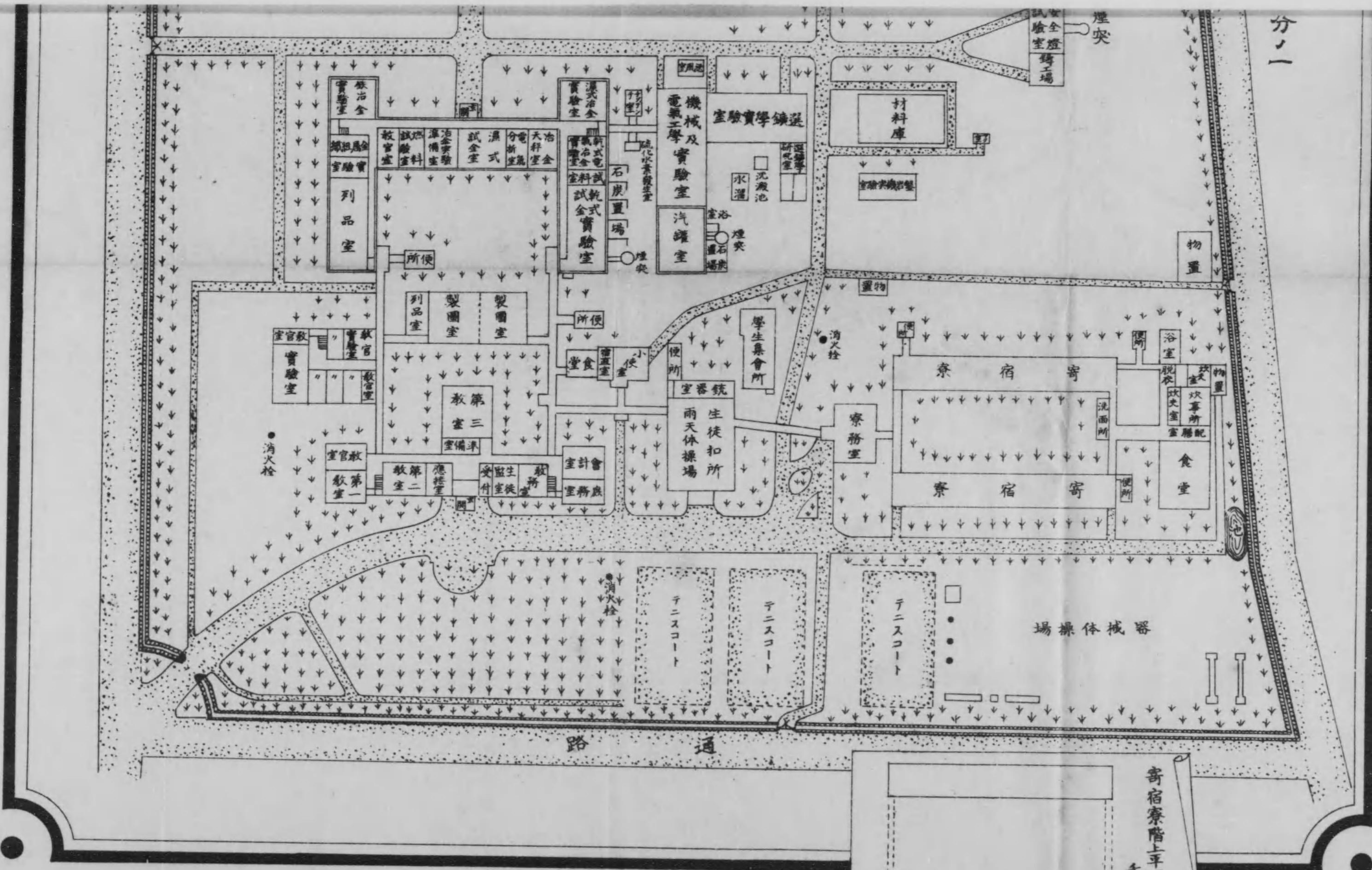
第二十四條 會員ニシテ不都合ノ行爲アリタルモノハ役員會ノ決議ニ依リ除名スルコトアルヘシ



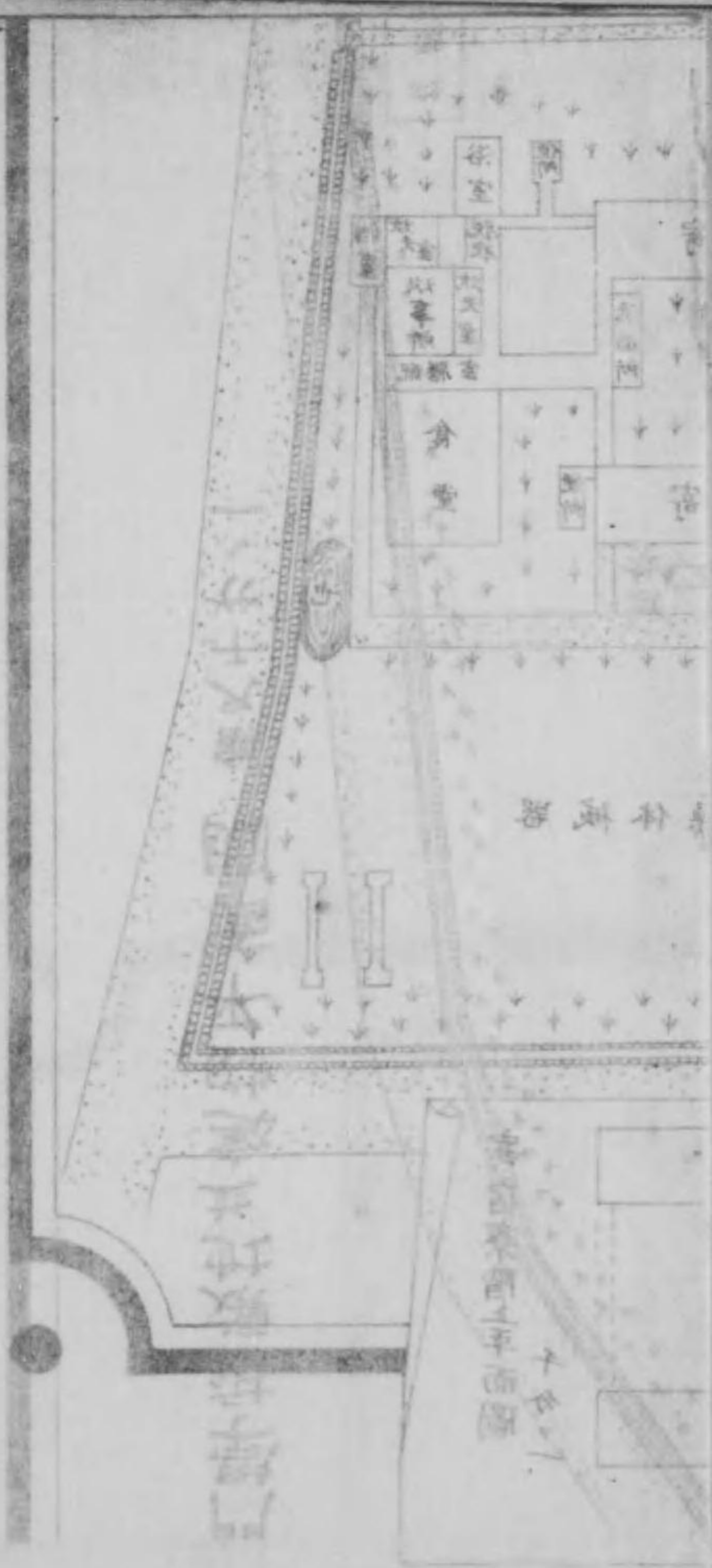
Vertical columns of Chinese text, likely a descriptive or historical account related to the architectural plan on the left page. The text is arranged in a grid-like format, with columns separated by faint lines. The characters are small and densely packed, typical of traditional Chinese manuscript or printed text.

秋田鑛山專門學校敷地並建物平面圖 縮尺千分の一





寄宿寮階上平面圖
千分一



大正十年一月七日印刷
大正十年一月十日發行

秋田鑛山專門學校

〔電話五二五番〕

東京市神田區美土代町二丁目一番地

印刷者 島 連太郎

東京市神田區美土代町二丁目一番地

印刷所 三 秀 舍

72
48

終

